

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-195074

(P2019-195074A)

(43) 公開日 令和1年11月7日(2019.11.7)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
H01L 51/50 (2006.01)	H05B 33/14	B 3K107
H05B 33/12 (2006.01)	H05B 33/12	C
C09K 11/06 (2006.01)	C09K 11/06	690
	C09K 11/06	660

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 54 頁)

(21) 出願番号	特願2019-111010 (P2019-111010)	(71) 出願人	509266480
(22) 出願日	令和1年6月14日 (2019.6.14)		ローム・アンド・ハース・エレクトロニク
(62) 分割の表示	特願2016-87969 (P2016-87969)		ク・マテリアルズ・コリア・リミテッド
原出願日	平成23年7月29日 (2011.7.29)		大韓民国 331-980 チュンチョン
(31) 優先権主張番号	10-2011-0075593		ナムード チョナンシー ソブクーク 3
(32) 優先日	平成23年7月29日 (2011.7.29)	(74) 代理人	110000589
(33) 優先権主張国・地域又は機関	韓国 (KR)		特許業務法人センダ国際特許事務所
(31) 優先権主張番号	10-2010-0074290	(72) 発明者	キム, チ・シク
(32) 優先日	平成22年7月30日 (2010.7.30)		大韓民国, キョンギド・445-752
(33) 優先権主張国・地域又は機関	韓国 (KR)		, ファソンーシ, バンソンドン, ソルピ
			ット・マウル・サンヨン・イエガー・アパ
			ートメント, 441-1201

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 発光材料として電界発光化合物を使用する電界発光素子

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】優れた発光効率、高い色純度、低い駆動電圧および長寿命特性を有する有機電界発光素子を提供する。

【解決手段】効率的なホスト-ドープアントエネルギー伝達メカニズムを示し、これにより、向上した電子密度分布に基づく特定の高效率電界発光性能を示す有機電界発光素子。この有機電界発光素子は、低い当初効率および短い駆動寿命特性も向上させ、かつそれぞれの色について高效率で長寿命の高性能電界発光特性も確実にする。

【選択図】なし

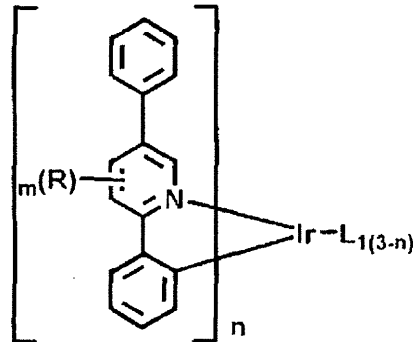
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基体上のアノードとカソードとの間に有機層が設けられており、前記有機層が電界発光層を含み、前記電界発光層が下記化学式 1 4 で表される 1 種以上のドーパント化合物および下記化学式 5 で表される 1 種以上のホスト化合物を含む有機電界発光素子；

【化 1】

[化学式 1 4]



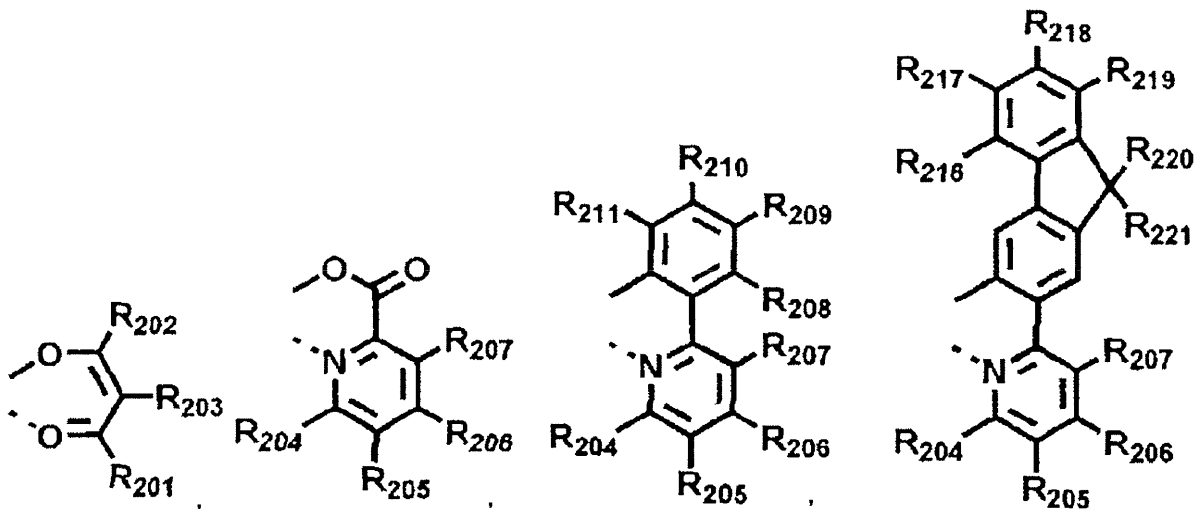
10

式中、R は置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリールを表し；

20

L₁ は下記構造

【化 2】



30

から選択され、

R₂₀₁ ~ R₂₀₃ は独立して、水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、(C 1 - C 3 0) アルキルで置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、またはハロゲンを表し；

40

R₂₀₄ ~ R₂₁₉ は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、SF₅、置換されているかもしくは置換されていないトリ (C 1 - C 3 0) アルキルシリル、置換されているかもしくは置換されていないジ (C 1 - C 3 0) アルキル (C 6 - C 3 0) アリールシリル、置換されているかもしくは置換されていないトリ (C 6 - C 3 0) アリールシリル、シアノまたはハロゲンを表し；

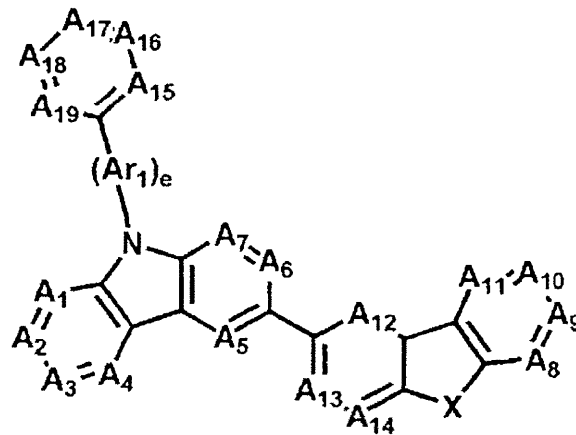
R₂₂₀ ~ R₂₂₁ は独立して、水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、または (C 1 - C 3 0) アルキルで置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリールを表し；並びに、

n および m は独立して 1 ~ 3 の整数を表す；

50

【化3】

[化学式5]



10

式中、 $A_1 \sim A_{14}$ は CR_{61} を表し、 $A_{15} \sim A_{19}$ は独立して CR_{61} もしくは N を表し；

X は $-C(R_{62}R_{63})-$ 、 $-N(R_{64})-$ 、または $-S-$ を表し；

Ar_1 は置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C40$) アリーレン、または置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C40$) ヘテロアリーレンを表し；

20

$R_{61} \sim R_{64}$ は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない1以上の ($C3 - C30$) シクロアルキルと縮合した置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない5～7員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない1以上の芳香環と縮合した5～7員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) シクロアルキル、1以上の芳香環と縮合した置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) シクロアルキル、シアノ、トリフルオロメチル、 $NR_{71}R_{72}$ 、 $BR_{73}R_{74}$ 、 $PR_{75}R_{76}$ 、 $P(=O)R_{77}R_{78}$ 、 $R_{79}R_{80}R_{81}Si-$ 、 $R_{82}Y_{21}-$ 、 $R_{83}C(=O)-$ 、 $R_{84}C(=O)O-$ 、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C2 - C30$) アルケニル、置換されているかもしくは置換されていない ($C2 - C30$) アルキニル、カルボキシル、ニトロまたはヒドロキシルを表すか、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環、単環式もしくは多環式芳香環、またはヘテロ芳香環を形成しており；

30

40

前記ヘテロシクロアルキルおよびヘテロアリールは B 、 N 、 O 、 S 、 $P(=O)$ 、 Si および P からなる群から選択される1以上のヘテロ原子を含み；

$R_{71} \sim R_{78}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリールを表し；

$R_{79} \sim R_{81}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、または置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリールを表し；

Y_{21} は S もしくは O を表し；

50

R_{82} は置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、または置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリールを表し；

R_{83} は置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリールオキシを表し；

R_{84} は置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリールオキシを表し；並びに

e は 1 であり；

前記 R および Ar_1 をさらに置換している置換基が独立して、重水素、ハロゲン、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、 ($C6 - C30$) アリール、 ($C6 - C30$) アリールで置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリール、5~7員のヘテロシクロアルキル、1以上の芳香環と縮合した5~7員のヘテロシクロアルキル、 ($C3 - C30$) シクロアルキル、1以上の芳香環と縮合した ($C6 - C30$) シクロアルキル、 $R_{91} R_{92} R_{93} Si-$ 、 ($C2 - C30$) アルケニル、 ($C2 - C30$) アルキニル、シアノ、カルバゾリル、 $NR_{94} R_{95}$ 、 $BR_{96} R_{97}$ 、 $PR_{98} R_{99}$ 、 $P(=O)R_{100} R_{101}$ 、 ($C6 - C30$) アリール ($C1 - C30$) アルキル、 ($C1 - C30$) アルキル ($C6 - C30$) アリール、 $R_{102} S-$ 、 $R_{103} O-$ 、 $R_{104} C(=O)-$ 、 $R_{105} C(=O)O-$ 、カルボキシル、ニトロ、またはヒドロキシルからなる群から選択される 1 以上を表し；

$R_{91} \sim R_{103}$ が独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されていない ($C6 - C30$) アリール、置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリール、または置換されていない5~7員のヘテロシクロアルキルを表すか、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されていない ($C3 - C30$) アルキレンまたは置換されていない ($C3 - C30$) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており、この形成された脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環の炭素原子は、窒素、酸素および硫黄からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子で置き換えられていてよく；並びに

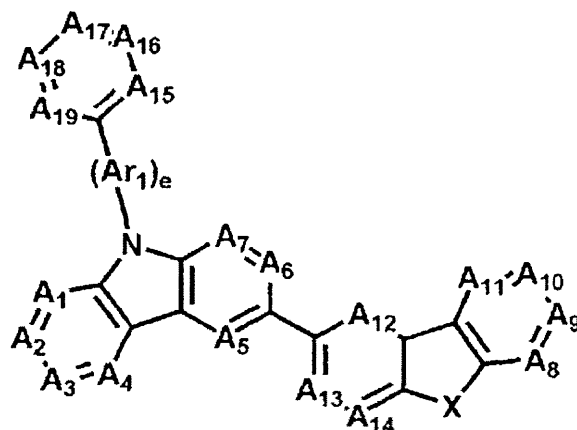
R_{104} および R_{105} が ($C1 - C30$) アルキル、 ($C1 - C30$) アルコキシ、 ($C6 - C30$) アリール、または ($C6 - C30$) アリールオキシを表す。

【請求項 2】

前記ホスト化合物が下記化学式 5 で表される、請求項 1 に記載の有機電界発光素子；

【化 4】

[化学式 5]



式中、 $A_{11} \sim A_{14}$ は CR_{61} を表し；

$A_{15} \sim A_{19}$ は独立して CR_{61} もしくは N を表し；

X は $-N(R_{64})-$ 、または $-S-$ を表し；

Ar_1 は置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C40$) アリーレン、および置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C40$) ヘテロアリーレンを表し；

R_{61} および R_{64} は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリール、 $NR_{71}R_{72}$ 、および $R_{79}R_{80}R_{81}Si-$ を表し；

$R_{71} \sim R_{72}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C3 - C30$) ヘテロアリールを表し；

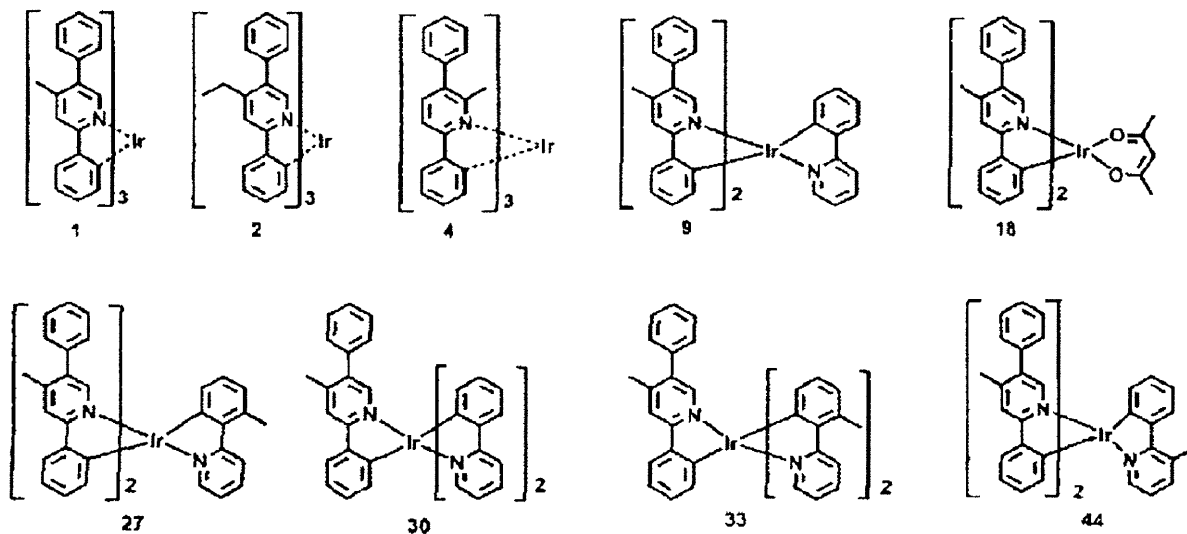
$R_{79} \sim R_{81}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、または置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリールを表し；並びに

e は 1 である。

【請求項 3】

化学式 14 が下記構造

【化 5】



から選択される請求項 1 に記載の有機電界発光素子。

【請求項 4】

前記有機層が電界発光層および電荷発生層を同時に含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の有機電界発光素子。

【請求項 5】

白色光を放射するために、前記有機層が赤、緑または青色光を放射する 1 以上の有機電界発光層をさらに含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の有機電界発光素子。

【請求項 6】

前記電界発光層において、前記ホスト化合物に基づく前記ドーパント化合物のドーピング濃度が 20 重量%未満の範囲である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の有機電界発光素子。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

10

20

30

40

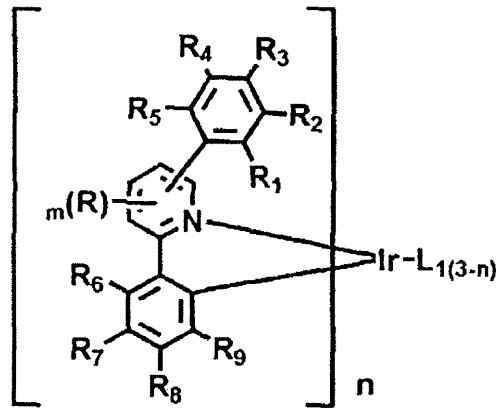
50

本発明は、有機電界発光素子 (organic electroluminescent device) に関し、より具体的には、基体上のアノードとカソードとの間に有機層が設けられており、この有機層が下記化学式 1 で表される 1 種以上のドーパント化合物および下記化学式 2 ~ 5 で表される 1 種以上のホスト化合物を含む有機電界発光素子に関する。

【0002】

【化1】

[化学式 1]

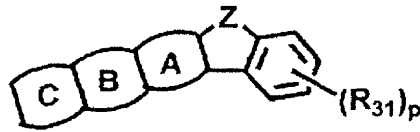


10

20

【化2】

[化学式 2]



[化学式 3]

(C_z-L₂)_a-M

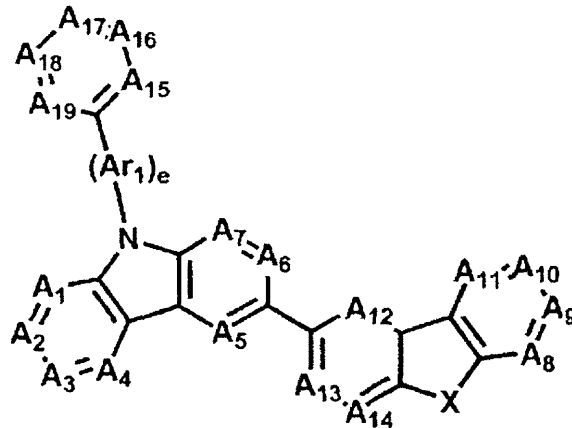
30

[化学式 4]

(C_z)_b-L₂-M

【化3】

[化学式 5]



40

【背景技術】

【0003】

ディスプレイ素子の中では、電界発光素子 (EL素子) は自己発光型ディスプレイ素子

50

であり、かつLCDと比べてより広い視野角、優れたコントラストおよび速い応答速度という利点を有する。電界発光層を形成するための物質として、低分子量の芳香族ジアミンとアルミニウム錯体とを使用する有機EL素子が、1987年にイーストマンコダックカンパニーによって初めて開発された [Appl. Phys. Lett. 51, 913, 1987]。

【0004】

有機EL素子においては、電子注入電極（カソード）および正孔注入電極（アノード）の間に形成される有機膜に電荷が注入される場合に、電子および正孔が対になって、そして光を放射しつつ消滅する。有機EL素子は、その素子がプラスチックのような可撓性の透明基体上に形成されることができ、かつプラズマディスプレイパネルもしくは無機ELディスプレイと比較して低い電圧（10V以下）で駆動されることができるという利点を有する。さらに、有機EL素子は相対的に小さな電力消費しか必要とせず、かつ優れた色を有する。一方で、有機EL素子は赤、緑および青の3色を示し、よってそれは次世代の色彩豊かなディスプレイ素子として多くの人からの注目の的となっている。

10

【0005】

有機EL素子のための有機材料はおおまかに電界発光材料と電荷輸送材料とに分けられる。電界発光材料は電界発光色および発光効率に直接関連し、かついくつかの特性、例えば、固体状態での高い蛍光量子収率、電子および正孔の高移動度、真空蒸着の際の低い分解性、および均一な薄膜形成能力を必要とする。

【0006】

電界発光材料は機能の観点から、ホスト材料とドーパント材料とに分けられる。一般的には、電界発光層がホストをドーパントでドーブすることにより形成される構造を有する素子が、優れたEL特性を有することが知られている。最近、高効率かつ長寿命特性を有する有機EL素子の開発が最も緊急の課題となっており、特に、中～大型のOLEDパネルに必要とされるEL特性の水準を考慮すると、既存の電界発光材料よりも優れた材料の開発が急を要している。この理由のために、固体状態の溶媒およびエネルギー輸送メンバーとして機能するホスト材料は高純度を有し、かつ真空蒸着を可能にするのに適した分子量を有することを必要とする。さらに、ホスト材料は高いガラス転移温度および高い熱分解温度のせいで高い熱安定性を確実にし、かつ長寿命特性のための高い電気化学的安定性を確実にすることを必要とする。さらに、ホスト材料は非晶質薄膜の形成の容易さを必要とし、かつ層間移動が起こる必要はないが、他の隣接する層の材料との優れた接着強度を有することを必要とする。

20

30

【0007】

OLEDの発光効率を決定する最も重要な要因として機能する電界発光材料として、現在まで、蛍光材料が広く使用されてきたが、電界発光メカニズムの観点からは、リン光材料の開発が発光効率を理論的に4倍まで向上させうる最も良い方法として知られている。

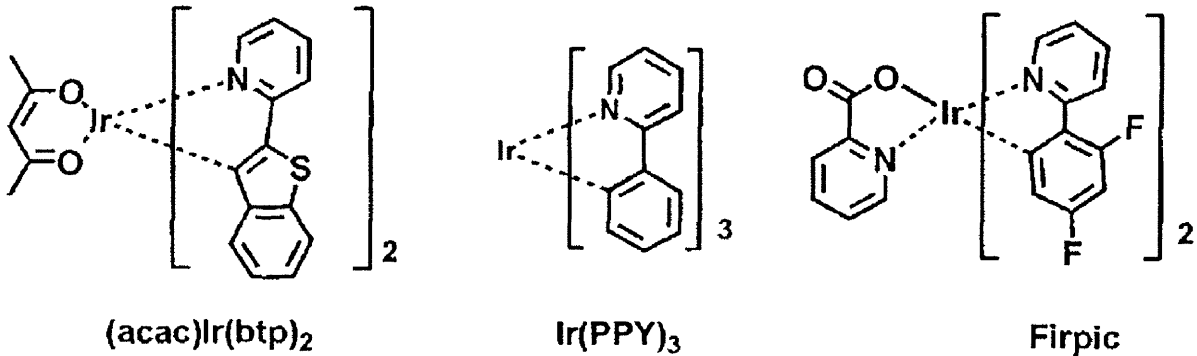
【0008】

イリジウム（III）錯体系リン光電界発光材料として、現在まで、赤色、緑色および青色のためにそれぞれ (acac)Ir(btp)₂、Ir(ppp)₃ および Firpic が知られている。近年、多くのリン光材料が韓国、日本、および欧州において研究されており、よってより改良されたリン光材料が知られることとなることが期待される。

40

【0009】

【化4】



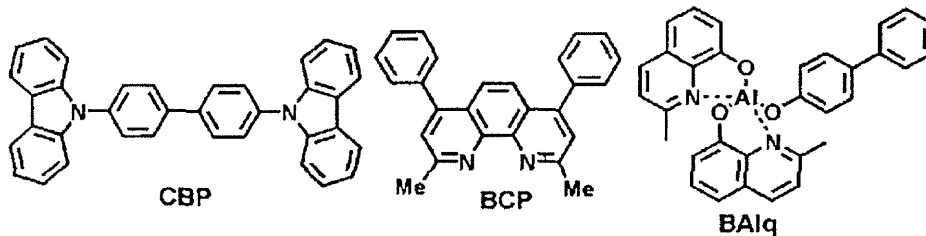
10

【0010】

リン光電解発光体のホスト材料として、現在まで、CBPが最も広く知られており、CBPまたはBALqの正孔ブロッキング層が適用される高效率OLEDが知られている。

【0011】

【化5】



20

【0012】

既存の材料が電界発光特性の点で有利である。しかし、それらは真空下での高温蒸着プロセスにかけられる場合に、その低いガラス転移温度および劣った熱安定性のせいで変形しうる。OLEDにおいては、電力効率 = (/ 電圧) × 電流効率であるから、電力効率は電圧に反比例する。よって、OLEDの電力消費を低減させるために、電力効率が上げられる必要がある。実際のリン光電界発光材料を使用するOLEDは、蛍光電界発光材料を使用するOLEDと比較してより高い電流効率 (cd/A) を有する。しかし、BALqまたはCBPなどの既存の材料がリン光電界発光材料のホストとして使用されるOLEDは、蛍光材料を使用するOLEDと比べるとより高い駆動電圧を有し、よって電力効率 (lm/w) の点では大きな利点は存在しない。

30

【先行技術文献】

【非特許文献】

【0013】

【非特許文献1】Appl. Phys. Lett. 51, 913, 1987

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0014】

先行技術の欠点を解決するために本発明者によってなされた努力の結果、特定の化合物の組み合わせによって造られる電界発光層を含む有機層を基体上のアノードとカソードとの間に設けることにより、高い色純度、高い輝度および長寿命特性を有する有機電界発光素子を実現されうる。

40

本発明の目的は、基体上のアノードとカソードとの間に有機層が設けられ、この有機層が電界発光層を含み、この電界発光層が1種以上のホスト化合物および1種以上のドーパント化合物を含む有機電界発光素子、ひいては優れた発光効率、高い色純度、低い駆動電圧および長寿命特性を有する有機電界発光素子を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0015】

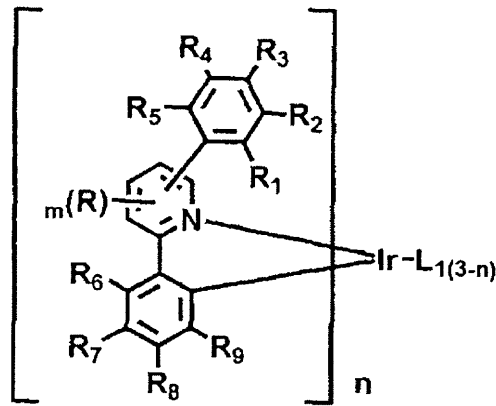
50

本発明は有機電界発光素子に関し、より具体的には、基体上のアノードとカソードとの間に有機層が設けられており、この有機層が電界発光層を含み、この電界発光層が下記化学式1で表される1種以上のドーパント化合物および下記化学式2～5で表される1種以上のホスト化合物を含む有機電界発光素子に関する。

【0016】

【化6】

[化学式1]



10

20

【0017】

式中、 L_1 は有機配位子を表し；

R は水素、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) ヘテロアリールを表し；

$R_1 \sim R_5$ は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない5～7員のヘテロシクロアルキル、シアノ、ニトロ、 $BR_{11}R_{12}$ 、 $PR_{13}R_{14}$ 、 $P(=O)R_{15}R_{16}$ 、 $R_{17}R_{18}R_{19}Si-$ 、または置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール (C1 - C30) アルキルを表し；

30

$R_6 \sim R_9$ は水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C5 - C30) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない5～7員のヘテロシクロアルキル、シアノ、ニトロ、 $BR_{11}R_{12}$ 、 $PR_{13}R_{14}$ 、 $P(=O)R_{15}R_{16}$ 、 $R_{17}R_{18}R_{19}Si-$ 、 $NR_{20}R_{21}$ 、 $R_{22}Y-$ 、置換されているかもしくは置換されていない (C2 - C30) アルケニル、置換されているかもしくは置換されていない (C2 - C30) アルキニル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール (C1 - C30) アルキルを表すか、またはそれらは隣の置換基に連結されて縮合環を形成しており；

40

$R_{11} \sim R_{22}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) ヘテロアリールを表し；

Y はSまたはOを表し；

nおよびmは独立して1～3の整数を表し；

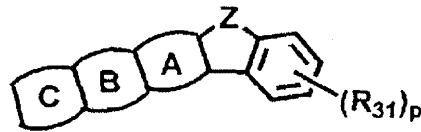
前記ヘテロシクロアルキルおよびヘテロアリールはB、N、O、S、 $P(=O)$ 、SiおよびPからなる群から選択される1以上のヘテロ原子を含む。

50

【0018】

【化7】

[化学式2]



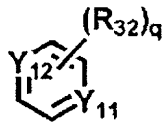
【0019】

式中、Zは - O - 、 - S - 、 - C (R_{4 1} R_{4 2}) - 、 - S i (R_{4 3} R_{4 4}) - 、 または - N (R_{4 5}) - を表し；

10

環Aおよび環Cは独立して、

【化8】

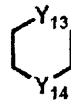


を表し；

環Bは

【化9】

20



の環を表し；

【0020】

Y_{1 1} ~ Y_{1 2} は独立してCおよびNを表し；

Y_{1 3} ~ Y_{1 4} は独立して化学結合、 - O - 、 - S - 、 - C (R_{4 1} R_{4 2}) - 、 - S i (R_{4 3} R_{4 4}) - 、 または - N (R_{4 5}) - を表すが； Y_{1 3} および Y_{1 4} が同時に化学結合を表す場合のみを除く；

R_{3 1} および R_{3 2} は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキルシリル基、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アリールシリル基、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル (C 6 - C 3 0) アリールシリル基、シアノ、ニトロ、またはヒドロキシルを表すが、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) アルキレンもしくは (C 3 - C 3 0) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており；

30

40

R_{4 1} ~ R_{4 5} は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) シクロアルキルを表すが、またはそれらは隣の置換基に連結されて環を形成しており；

p および q は独立して 0 ~ 4 の整数を表し；

p もしくは q が 2 より大きい整数を表す場合には、それぞれの R_{3 1} および R_{3 2} は互

50

いに同じかもしくは異なっていてよく、およびそれらは隣の置換基に連結されて環を形成してよく；並びに

前記ヘテロシクロアルキルおよびヘテロアリールはB、N、O、S、P (= O)、SiおよびPからなる群から選択される1以上のヘテロ原子を含む。

【0021】

[化学式3]

$(C_z - L_2)_a - M$

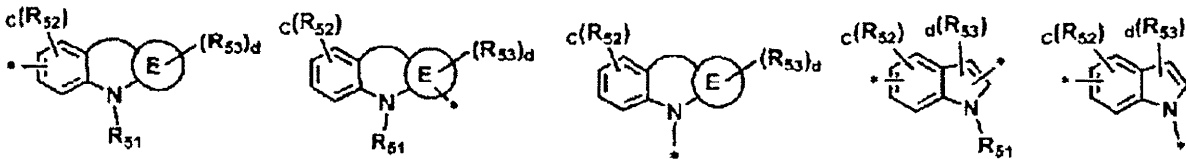
[化学式4]

$(C_z)_b - L_2 - M$

式中、 C_z は下記構造から選択され、

【0022】

【化10】



【0023】

環Eは(C6 - C30)シクロアルキル基、(C6 - C30)アリール基、もしくは(C5 - C30)ヘテロアリール基を表し；

$R_{51} \sim R_{53}$ は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない(C1 - C30)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C6 - C30)アリール、置換されているかもしくは置換されていない(C3 - C30)ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない5～7員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない1以上の(C3 - C30)シクロアルキルと縮合した置換されているかもしくは置換されていない(C6 - C30)アリール、置換されているかもしくは置換されていない1以上の芳香環と縮合した5～7員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C3 - C30)シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない1以上の芳香環と縮合した(C3 - C30)シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C6 - C30)アリール(C1 - C30)アルキル、シアノ、ニトロ、ヒドロキシル、 $BR_{11}R_{12}$ 、 $PR_{13}R_{14}$ 、 $P(=O)R_{15}R_{16}$ 、 $R_{17}R_{18}R_{19}$ 、 $Si-$ 、 $NR_{20}R_{21}$ 、 $-YR_{22}$ を表すか、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない(C3 - C30)アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない(C3 - C30)アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており、この形成された脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環の炭素原子は窒素、酸素および硫黄からなる群から選択される1以上のヘテロ原子で置き換えられてよく；並びに

それぞれの R_{52} もしくは R_{53} は互いに同じかもしくは異なっていてよく；

L_2 は化学結合、置換されているかもしくは置換されていない(C6 - C30)アリール基、または置換されているかもしくは置換されていない(C5 - C30)ヘテロアリール基を表し；

Mは置換されているかもしくは置換されていない(C6 - C30)アリール基、または置換されているかもしくは置換されていない(C5 - C30)ヘテロアリールを表し；

a ~ d は独立して0 ~ 4の整数を表す。

【0024】

10

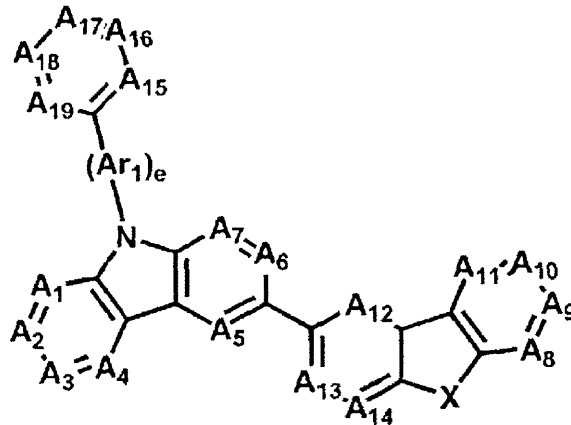
20

30

40

【化 1 1】

[化学式 5]



10

【 0 0 2 5 】

式中、 $A_1 \sim A_{19}$ は独立して CR_{61} もしくは N を表し；

X は $-C(R_{62}R_{63})-$ 、 $-N(R_{64})-$ 、 $-S-$ 、 $-O-$ 、 $-Si(R_{65})(R_{66})-$ 、 $-P(R_{67})-$ 、 $-P(=O)(R_{68})-$ 、または $-B(R_{69})-$ を表し；

20

Ar_1 は置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{40}$) アリーレン、または置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{40}$) ヘテロアリーレンを表すが； $e = 0$ かつ $A_{15} \sim A_{19}$ が同時に CR_{61} である場合のみを除き；

$R_{61} \sim R_{69}$ は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C_1 - C_{30}$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の ($C_3 - C_{30}$) シクロアルキルと縮合した置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリール、置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の芳香環と縮合した 5 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) シクロアルキル、1 以上の芳香環と縮合した置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) シクロアルキル、シアノ、トリフルオロメチル、 $NR_{71}R_{72}$ 、 $BR_{73}R_{74}$ 、 $PR_{75}R_{76}$ 、 $P(=O)R_{77}R_{78}$ 、 $R_{79}R_{80}R_{81}Si-$ 、 $R_{82}Y_{21}-$ 、 $R_{83}C(=O)-$ 、 $R_{84}C(=O)O-$ 、置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリール ($C_1 - C_{30}$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_2 - C_{30}$) アルケニル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_2 - C_{30}$) アルキニル、カルボキシル、ニトロまたはヒドロキシルを表すか、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環、単環式もしくは多環式芳香環、またはヘテロ芳香環を形成しており；

30

40

前記ヘテロシクロアルキルおよびヘテロアリールは B 、 N 、 O 、 S 、 $P(=O)$ 、 Si および P からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子を含み；

$R_{71} \sim R_{78}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C_1 - C_{30}$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない ($C_3 - C_{30}$) ヘテロアリールを表し；

$R_{79} \sim R_{81}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない ($C_1 - C_{30}$) アルキル、または置換されているかもしくは置換されていない ($C_6 - C_{30}$) アリ

50

ールを表し；

Y_{21} は S もしくは O を表し；

R_{82} は置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、または置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリールを表し；

R_{83} は置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリールオキシを表し；

R_{84} は置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリールオキシを表し；並びに

e は 0 または 2 の整数を表す。

【0026】

本発明の有機電界発光素子はホスト - ドーパントエネルギー伝達メカニズムを示し、これにより向上した電子密度分布に基づく特定の高效率電界発光性能を示すことができる。さらに、本発明の有機電界発光素子は低い当初効率、短い駆動寿命特性などを克服することができ、そして各色について高效率で長寿命特性の高性能電界発光性能を確実にすることができる。

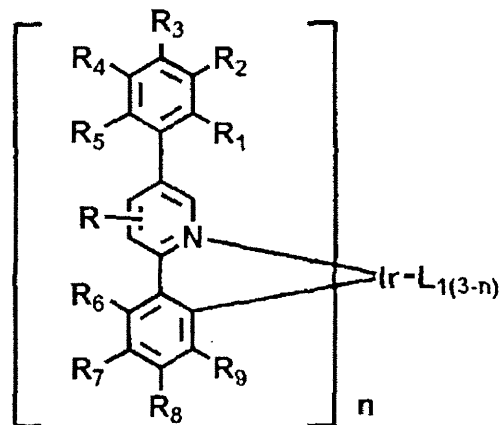
【0027】

本発明の有機電界発光素子において、ドーパントとして含まれる化学式 1 で表される化合物には、化学式 6 および 7 で表される化合物が挙げられることができ、ホストとして含まれる化学式 2 で表される化合物には、化学式 8 ~ 13 で表される化合物が挙げられることができ、そして上記化学式 3 ~ 4 の Cz には下記構造が挙げられうるが、これらに限定されない。

【0028】

【化 12】

[化学式 6]



【0029】

10

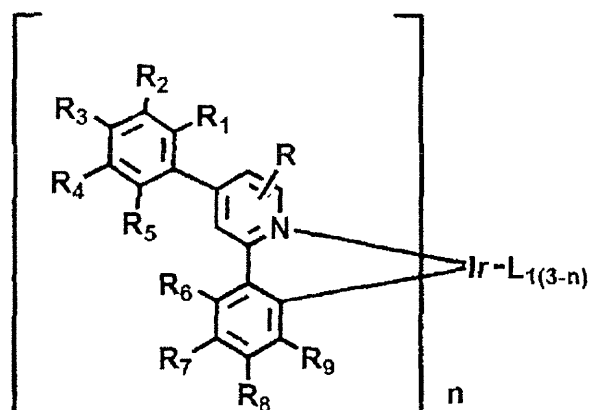
20

30

40

【化 1 3】

[化学式 7]



10

【 0 0 3 0】

式中、R、R₁ ~ R₉、L₁ および n は化学式 1 において定義されるのと同じである。

【 0 0 3 1】

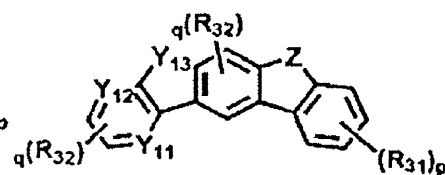
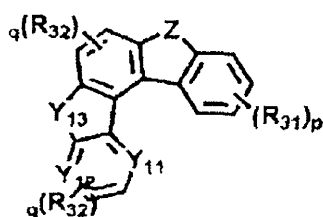
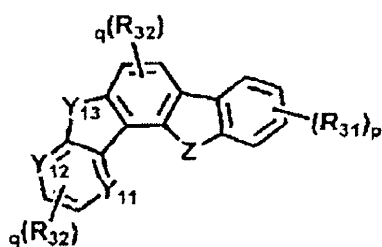
【化 1 4】

[化学式 8]

[化学式 9]

[化学式 10]

20



【 0 0 3 2】

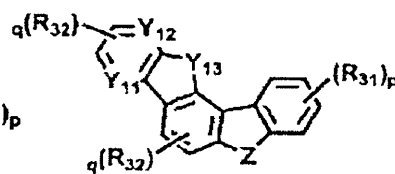
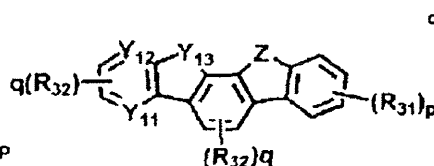
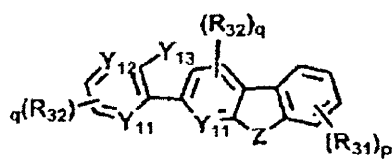
【化 1 5】

30

[化学式 11]

[化学式 12]

[化学式 13]



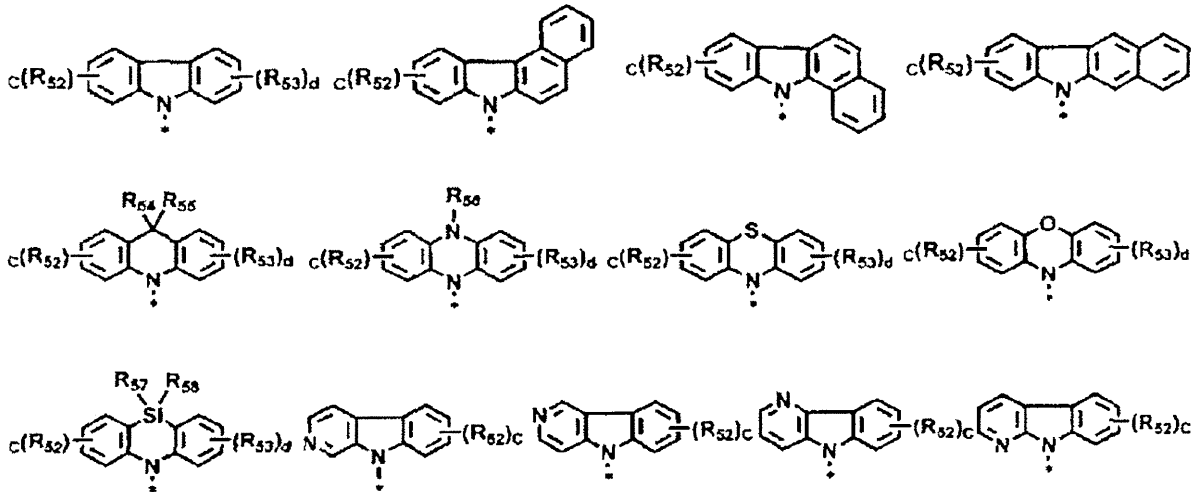
【 0 0 3 3】

式中、R₃₁、R₃₂、Y₁₁ ~ Y₁₃、Z、p および q は化学式 2 において定義されるのと同じであり、化学式 3 ~ 4 の C_z は下記構造から選択される

40

【 0 0 3 4】

【化 1 6】



10

【0035】

式中、 R_{52} 、 R_{53} 、 c および d は化学式3~4において定義されるのと同じであり；並びに

R_{54} ~ R_{58} は独立して、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない(C1-C30)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C6-C30)アリール、または置換されているかもしくは置換されていない(C3-C30)ヘテロアリールまたはカルボゾリルを表す。

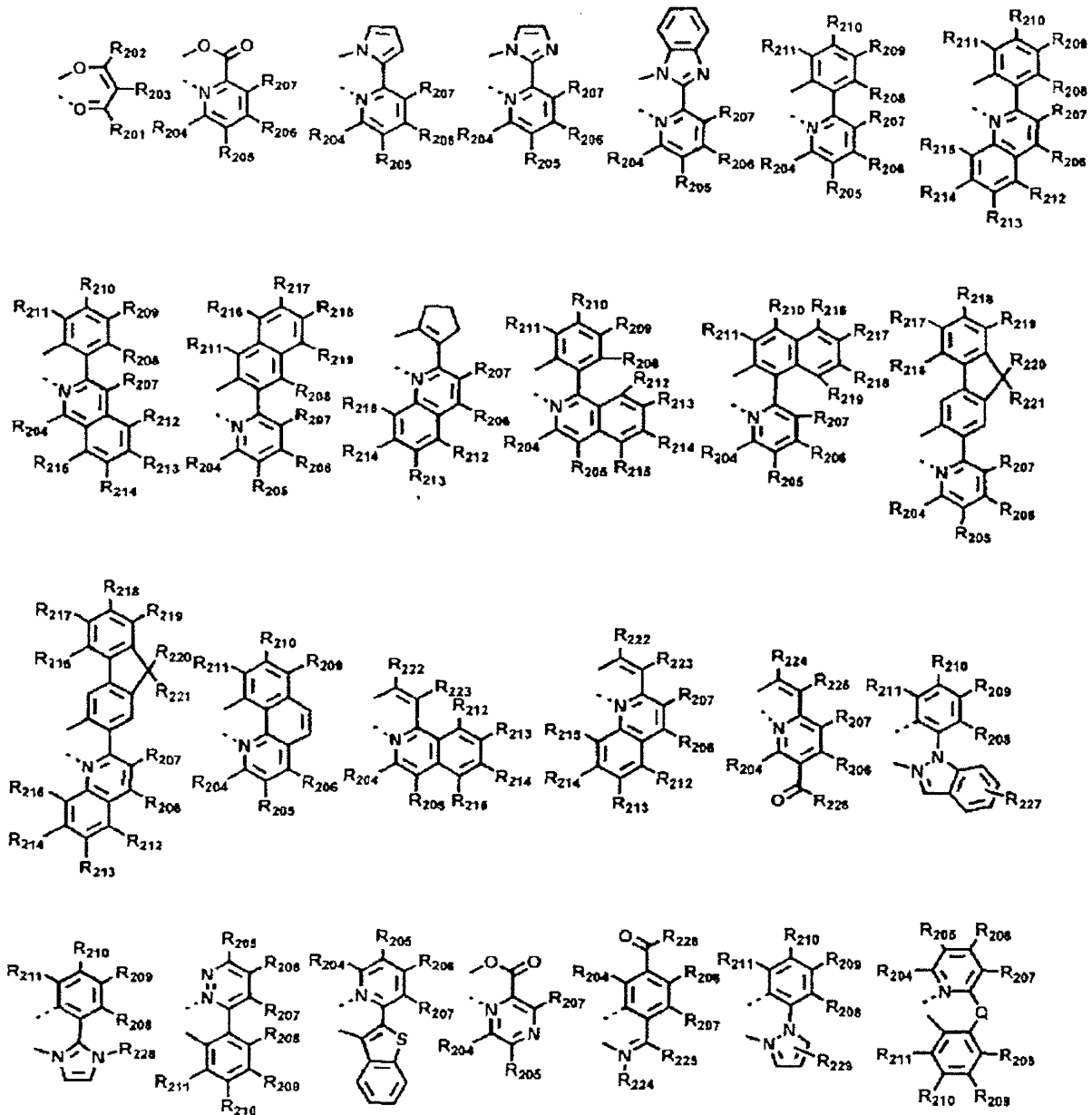
20

【0036】

さらに、化学式1で表される L_1 は下記構造から選択されうるが、これらに限定されない。

【0037】

【化 17】



10

20

30

40

50

【0038】

式中、R₂₀₁ ~ R₂₀₃ は独立して水素、重水素、ハロゲン置換でされているかもしくは置換されていない(C₁ - C₃₀)アルキル、(C₁ - C₃₀)アルキルで置換されているかもしくは置換されていない(C₆ - C₃₀)アリール、またはハロゲンを表し；

R₂₀₄ ~ R₂₁₉ は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C₁ - C₃₀)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C₁ - C₃₀)アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない(C₃ - C₃₀)シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C₂ - C₃₀)アルケニル、置換されているかもしくは置換されていない(C₆ - C₃₀)アリール、置換されているかもしくは置換されていないモノ(C₁ - C₃₀)アルキルアミノ、置換されているかもしくは置換されていないジ(C₁ - C₃₀)アルキルアミノ、置換されているかもしくは置換されていないモノ(C₆ - C₃₀)アリールアミノ、置換されているかもしくは置換されていないジ(C₆ - C₃₀)アリールアミノ、SF₅、置換されているかもしくは置換されていないトリ(C₁ - C₃₀)アルキルシリル、置換されているかもしくは置換されていないジ(C₁ - C₃₀)アルキル(C₆ - C₃₀)アリールシリル、置換されているかもしくは置換されていないトリ(C₆ - C₃₀)アリールシリル、シアノまたはハロゲンを表し；

$R_{220} \sim R_{223}$ は独立して、水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、または ($C1 - C30$) アルキルで置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリールを表し；

R_{224} および R_{225} は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、またはハロゲンを表し、または R_{224} と R_{225} は縮合環を有するもしくは有しない ($C3 - C12$) アルキレンもしくは ($C3 - C12$) アルケニレンによって連結されて、脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており；

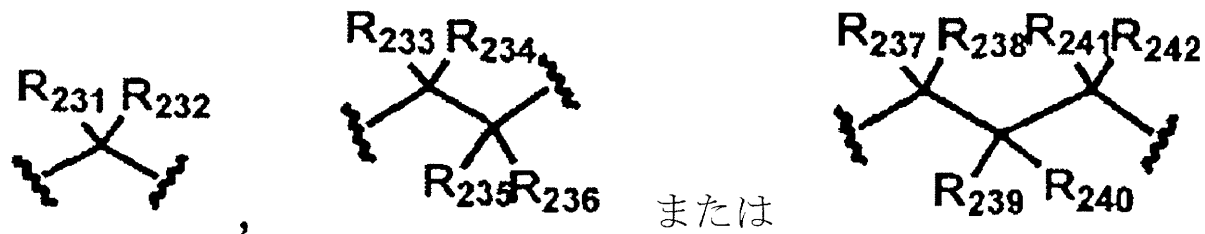
R_{226} は置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、置換されているか

10

もしくは置換されていない ($C5 - C30$) ヘテロアリール、またはハロゲンを表し；
 $R_{227} \sim R_{229}$ は独立して、水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、またはハロゲンを表し；

Q は

【化18】



20

を表し、並びに

$R_{231} \sim R_{242}$ は独立して水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、 ($C1 - C30$) アルコキシ、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、シアノ、置換されているかもしくは置換されていない ($C5 - C30$) シクロアルキルを表し、またはそれらはアルキレンもしくはアルケニレンによって隣の置換基に連結されてスピロ環もしくは縮合環を形成しており、またはアルキレンもしくはアルケニレンによって R_{207} もしくは R_{208} に連結されて飽和もしくは不飽和縮合環を形成している。

30

【0039】

本明細書に記載される場合、「アルキル」、「アルコキシ」および「アリール」部分を含む置換基の用語は、線状および分岐の種類の内いずれも含むことができ、「シクロアルキル」は単環式炭化水素並びに多環式炭化水素、例えば、置換されているかもしくは置換されていないアダマンチル、または置換されているかもしくは置換されていない ($C7 - C30$) ビシクロアルキルを含みうる。本明細書において記載される場合、用語「アリール」は、芳香族炭化水素から1つの水素原子を除去することにより得られる有機基を意味し、適切には4~7個の環原子、好ましくは5もしくは6個の環原子を含む単環もしくは縮合環を含むことができ、さらには複数のアリールが単結合で連結されている構造も含みうる。その具体的な例としては、フェニル、ナフチル、ビフェニル、テルフェニル、アントリル、インデニル、フルオレニル、フェナントリル、トリフェニレニル、ピレニル、ペリレニル、クリセニル、ナフタセニル、フルオランテニルなどが挙げられるが、これらに限定されない。ナフチルには、1-ナフチルおよび2-ナフチルが挙げられ、アントリルには1-アントリル、2-アントリルおよび9-アントリルが挙げられる。フェナントリルには1-フェナントリル、2-フェナントリル、3-フェナントリル、4-フェナントリルおよび9-フェナントリルが挙げられ、ナフタセニルには、1-ナフタセニル、2-ナフタセニルおよび9-ナフタセニルが挙げられる。ピレニルには1-ピレニル、2-ピレニルおよび4-ピレニルが挙げられ、ビフェニルには2-ビフェニル、3-ビフェニルおよび4-ビフェニルが挙げられる。テルフェニルには、p-テルフェニル-4-イル基、

40

50

p - テルフェニル - 3 - イル基、 p - テルフェニル - 2 - イル基、 m - テルフェニル - 4 - イル基、 m - テルフェニル - 3 - イル基、 および m - テルフェニル - 2 - イル基が挙げられる。

【 0 0 4 0 】

フルオレニルには 1 - フルオレニル、 2 - フルオレニル、 3 - フルオレニル、 4 - フルオレニルおよび 9 - フルオレニルが挙げられる。本明細書において記載される「ヘテロアリアル」は、芳香環骨格原子として B、 N、 O、 S、 P (= O)、 Si および P から選択される 1 ~ 4 個のヘテロ原子を含み、そして他の残りの芳香環骨格原子が炭素であるアリアル基を意味する。ヘテロアリアルは、 5 員もしくは 6 員の単環式ヘテロアリアル、または 1 以上のベンゼン環と縮合した多環式ヘテロアリアルであってよく、部分的に飽和されてい

10

てよい。本発明においては、「ヘテロアリアル」には、 1 以上のヘテロアリアルが単結合によって結合されている形態が挙げられる。ヘテロアリアル基には、環内のヘテロ原子 (1 つまたは複数) が酸化されるかまたは四級化されて、例えば、 N - オキシドまたは第四級塩などを形成することができる 2 価のアリアル基が挙げられる。具体的な例には、単環式ヘテロアリアル、例えば、フリル、チオフェニル、ピロリル、イミダゾリル、ピラゾリル、チアゾリル、チアジアゾリル、イソチアゾリル、イソオキサゾリル、オキサゾリル、オキサジアゾリル、トリアジニル、テトラジニル、トリアゾリル、テトラゾリル、フラザニル、ピリジル、ピラジニル、ピリミジニル、ピリダジニルなど ; 多環式ヘテロアリアル、例えば、ベンゾフラニル、ベンゾチオフェニル、ジベンゾフラニル、ジベンゾチオフェニル、イソベンゾフラニル、ベンゾイミダゾリル、ベンゾチアゾリル、ベンゾイソチアゾリル、ベンゾイソオキサゾリル、ベンゾオキサゾリル、イソインドリル、インドリル、インダゾリル、ベンゾチアジアゾリル、キノリル、イソキノリル、シンノリニル、キナゾリニル、キノキサリニル、カルバゾリル、フェナントリジニル、ベンゾジオキサソリル、アクリジニル、フェナントロリニル、フェナジニル、フェノチアジニル、フェノキサジニルなど ; その N - オキシド (例えば、ピリジル N - オキシド、キノリル N - オキシド)、その第四級塩などが挙げられるが、これらに限定されない。ピロリルには、 1 - ピロリル、 2 - ピロリルおよび 3 - ピロリルが挙げられ ; ピリジルには、 2 - ピリジル、 3 - ピリジル、および 4 - ピリジルが挙げられ ; インドリルには、 1 - インドリル、 2 - インドリル、 3 - インドリル、 4 - インドリル、 5 - インドリル、 6 - インドリル、および 7 - インドリルが挙げられ ; イソインドリルには、 1 - イソインドリル、 2 - イソインドリル、 3 - イソインドリル、 4 - イソインドリル、 5 - イソインドリル、 6 - イソインドリル、および 7 - イソインドリルが挙げられ ; フリルには、 2 - フリルおよび 3 - フリルが挙げられ ; ベンゾフラニルには、 2 - ベンゾフラニル、 3 - ベンゾフラニル、 4 - ベンゾフラニル、 5 - ベンゾフラニル、 6 - ベンゾフラニル、および 7 - ベンゾフラニルが挙げられ ; イソベンゾフラニルには、 1 - イソベンゾフラニル、 3 - イソベンゾフラニル、 4 - イソベンゾフラニル、 5 - イソベンゾフラニル、 6 - イソベンゾフラニル、および 7 - イソベンゾフラニルが挙げられ ; キノリルには、 3 - キノリル、 4 - キノリル、 5 - キノリル、 6 - キノリル、 7 - キノリル、および 8 - キノリルが挙げられ ; イソキノリルには、 1 - イソキノリル、 3 - イソキノリル、 4 - イソキノリル、 5 - イソキノリル、 6 - イソキノリル、 7 - イソキノリル、および 8 - イソキノリル基が挙げられ ; キノキサリニルには、 2 - キノキサリニル、 5 - キノキサリニル、および 6 - キノキサリニルが挙げられ ; カルバゾリルには、 1 - カルバゾリル、 2 - カルバゾリル、 3 - カルバゾリル、 4 - カルバゾリルおよび 9 - カルバゾリルが挙げられ ; フェナントリニルには、 1 - フェナントリニル、 2 - フェナントリニル、 3 - フェナントリニル、 4 - フェナントリニル、 6 - フェナントリニル、 7 - フェナントリニル、 8 - フェナントリニル、 9 - フェナントリニル、および 10 - フェナントリニルが挙げられ ; アクリジニルには、 1 - アクリジニル、 2 - アクリジニル、 3 - アクリジニル、 4 - アクリジニル、および 9 - アクリジニルが挙げられ ; フェナントロリニルには、 1, 7 - フェナントロリン - 2 - イル基、 1, 7 - フェナントロリン - 3 - イル基、 1, 7 - フェナントロリン - 4 - イル基、 1, 7 - フェナントロリン - 5 - イル基、 1, 7 - フェナントロリン - 6 - イル基、 1, 7 - フェナントロリン

20

30

40

50

- 8 - イル基、1, 7 - フェナントロリン - 9 - イル基、1, 7 - フェナントロリン - 10 - イル基、1, 8 - フェナントロリン - 2 - イル基、1, 8 - フェナントロリン - 3 - イル基、1, 8 - フェナントロリン - 4 - イル基、1, 8 - フェナントロリン - 5 - イル基、1, 8 - フェナントロリン - 6 - イル基、1, 8 - フェナントロリン - 7 - イル基、1, 8 - フェナントロリン - 9 - イル基、1, 8 - フェナントロリン - 10 - イル基、1, 9 - フェナントロリン - 2 - イル基、1, 9 - フェナントロリン - 3 - イル基、1, 9 - フェナントロリン - 4 - イル基、1, 9 - フェナントロリン - 5 - イル基、1, 9 - フェナントロリン - 6 - イル基、1, 9 - フェナントロリン - 7 - イル基、1, 9 - フェナントロリン - 8 - イル基、1, 9 - フェナントロリン - 10 - イル基、1, 10 - フェナントロリン - 2 - イル基、1, 10 - フェナントロリン - 3 - イル基、1, 10 - フェナントロリン - 4 - イル基、1, 10 - フェナントロリン - 5 - イル基、2, 9 - フェナントロリン - 1 - イル基、2, 9 - フェナントロリン - 3 - イル基、2, 9 - フェナントロリン - 4 - イル基、2, 9 - フェナントロリン - 5 - イル基、2, 9 - フェナントロリン - 6 - イル基、2, 9 - フェナントロリン - 7 - イル基、2, 9 - フェナントロリン - 8 - イル基、2, 9 - フェナントロリン - 10 - イル基、2, 8 - フェナントロリン - 1 - イル基、2, 8 - フェナントロリン - 3 - イル基、2, 8 - フェナントロリン - 4 - イル基、2, 8 - フェナントロリン - 5 - イル基、2, 8 - フェナントロリン - 6 - イル基、2, 8 - フェナントロリン - 7 - イル基、2, 8 - フェナントロリン - 9 - イル基、2, 8 - フェナントロリン - 10 - イル基、2, 7 - フェナントロリン - 1 - イル基、2, 7 - フェナントロリン - 3 - イル基、2, 7 - フェナントロリン - 4 - イル基、2, 7 - フェナントロリン - 5 - イル基、2, 7 - フェナントロリン - 6 - イル基、2, 7 - フェナントロリン - 8 - イル基、2, 7 - フェナントロリン - 9 - イル基、および 2, 7 - フェナントロリン - 10 - イル基が挙げられ；フェナジニルには、1 - フェナジニル、および 2 - フェナジニルが挙げられ；フェノチアジニルには、1 - フェノチアジニル、2 - フェノチアジニル、3 - フェノチアジニル、4 - フェノチアジニル、および 10 - フェノチアジニルが挙げられ；フェノキサジニルには、1 - フェノキサジニル、2 - フェノキサジニル、3 - フェノキサジニル、4 - フェノキサジニルおよび 10 - フェノキサジニルが挙げられ；オキサゾリルには、2 - オキサゾリル、4 - オキサゾリル、および 5 - オキサゾリルが挙げられ；オキサジアゾールには、2 - オキサジアゾール、および 5 - オキサジアゾールが挙げられ；フラザニルには 3 - フラザニルが挙げられ；ジベンゾフラニルには、1 - ジベンゾフラニル、2 - ジベンゾフラニル、3 - ジベンゾフラニルおよび 4 - ジベンゾフラニルが挙げられ；並びに、ジベンゾチオフエニルには、1 - ジベンゾチオフエニル、2 - ジベンゾチオフエニル、3 - ジベンゾチオフエニルおよび 4 - ジベンゾチオフエニルが挙げられる。上述のように、用語「(C1 - C30)アルキル」は(C1 - C20)アルキルまたは(C1 - C10)アルキルを含むことができ、用語「(C6 - C30)アリール」は(C6 - C20)アリールまたは(C6 - C12)アリールを含むことができる。用語「(C3 - C30)ヘテロアリール」は(C3 - C20)ヘテロアリールまたは(C3 - C12)ヘテロアリールを含むことができ、用語「(C3 - C30)シクロアルキル」は(C3 - C20)シクロアルキルまたは(C3 - C7)シクロアルキルを含むことができる。用語「(C2 - C30)アルケニルもしくはアルキニル」は(C2 - C20)アルケニルもしくはアルキニル、または(C2 - C10)アルケニルもしくはアルキニルを含むことができる。

【0041】

本明細書において記載される場合、「置換されているかもしくは置換されていない」における「置換されている」の表現は、置換されていない置換基がさらに置換されていることを意味する。本明細書において、R、R₁ ~ R₉、R₁₁ ~ R₁₂、R₃₁ ~ R₃₂、R₄₁ ~ R₄₅、R₅₁ ~ R₅₃、R₆₁ ~ R₆₉、R₇₁ ~ R₈₄、L₂、MおよびAr₁をさらに置換している置換基は独立して、重水素、ハロゲン、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない(C1 - C30)アルキル、(C6 - C30)アリール、(C6 - C30)アリールで置換されているかもしくは置換されていない(C3 - C3

10

20

30

40

50

0) ヘテロアリール、5～7員のヘテロシクロアルキル、1以上の芳香環と縮合した5～7員のヘテロシクロアルキル、(C3-C30)シクロアルキル、1以上の芳香環と縮合した(C6-C30)シクロアルキル、 $R_{91}R_{92}R_{93}Si-$ 、(C2-C30)アルケニル、(C2-C30)アルキニル、シアノ、カルバゾリル、 $NR_{94}R_{95}$ 、 $BR_{96}R_{97}$ 、 $PR_{98}R_{99}$ 、 $P(=O)R_{100}R_{101}$ 、(C6-C30)アリール(C1-C30)アルキル、(C1-C30)アルキル(C6-C30)アリール、 $R_{102}S-$ 、 $R_{103}O-$ 、 $R_{104}C(=O)-$ 、 $R_{105}C(=O)O-$ 、カルボキシル、ニトロ、またはヒドロキシルからなる群から選択される1以上を表し； $R_{91} \sim R_{103}$ は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない(C1-C30)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C6-C30)アリール、置換されているかもしくは置換されていない(C3-C30)ヘテロアリール、または置換されているかもしくは置換されていない5～7員のヘテロシクロアルキルを表すか、またはそれらは縮合環を有するかもしくは有しない置換されているかもしくは置換されていない(C3-C30)アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない(C3-C30)アルケニレンによって隣の置換基に連結されて脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成しており、この形成された脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環の炭素原子は、窒素、酸素および硫黄からなる群から選択される1以上のヘテロ原子で置き換えられてよく；並びに R_{104} および R_{105} は(C1-C30)アルキル、(C1-C30)アルコキシ、(C6-C30)アリール、または(C6-C30)アリールオキシを表す。

10

20

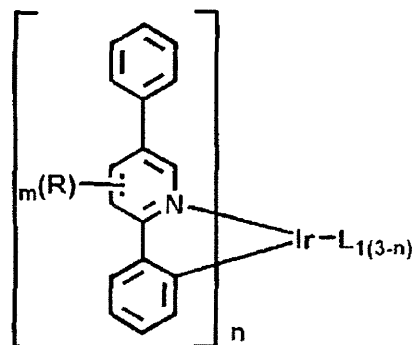
【0042】

特に、化学式14の化合物がドーパントとして選択され、そして化学式8および10、化学式11～12および化学式3～5の化合物がホストとして選択される場合には、高効率および長寿命特性を有する高性能有機電界発光素子を得るためのより効果的な発光特性が示されることが確認される。

【0043】

【化19】

[化学式14]



30

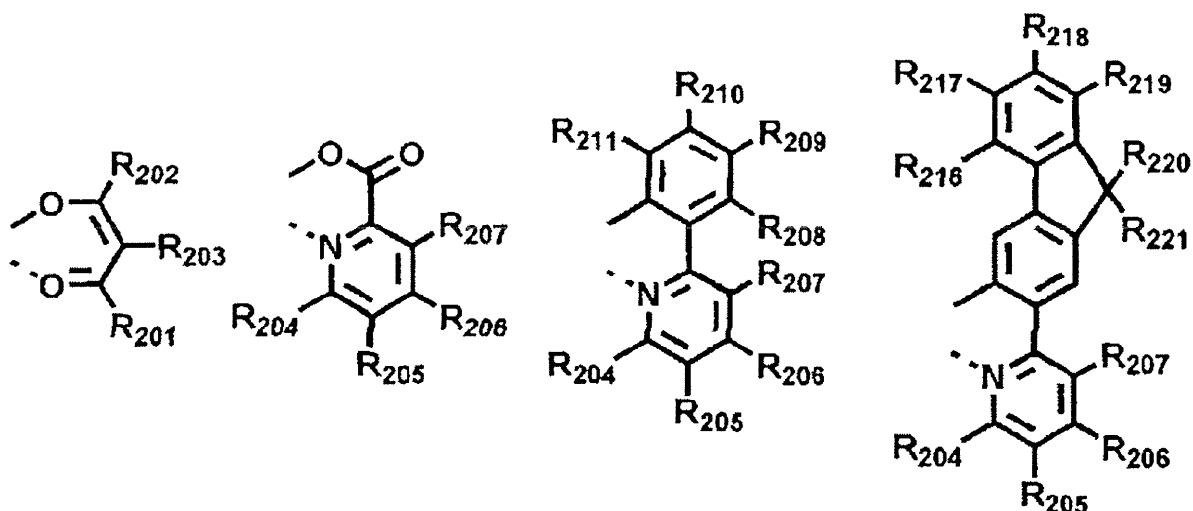
【0044】

式中、Rは置換されているかもしくは置換されていない(C1-C30)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C6-C30)アリールを表し；

L_1 は下記構造

40

【化 2 0】



10

から選択され、

$R_{201} \sim R_{203}$ は独立して水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、($C1 - C30$) アルキルで置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、またはハロゲンを表し；

$R_{204} \sim R_{219}$ は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリール、 SF_5 、置換されているかもしくは置換されていないトリ ($C1 - C30$) アルキルシリル、置換されているかもしくは置換されていないジ ($C1 - C30$) アルキル ($C6 - C30$) アリールシリル、置換されているかもしくは置換されていないトリ ($C6 - C30$) アリールシリル、シアノまたはハロゲンを表し；

$R_{220} \sim R_{221}$ は独立して、水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない ($C1 - C30$) アルキル、または ($C1 - C30$) アルキルで置換されているかもしくは置換されていない ($C6 - C30$) アリールを表し；並びに、

n および m は独立して $1 \sim 3$ の整数を表す。

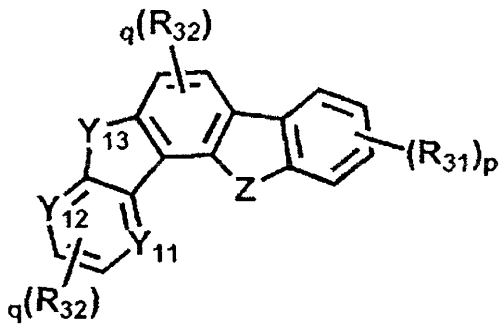
【0045】

20

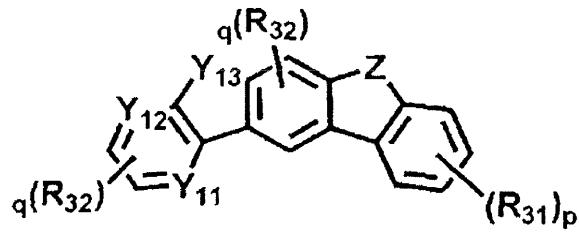
30

【化 2 1】

[化学式 8]

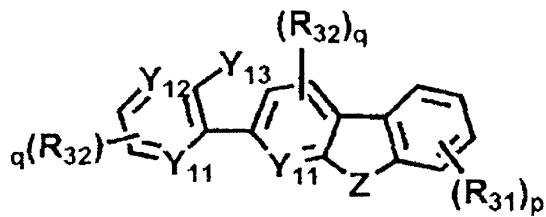


[化学式 1 0]

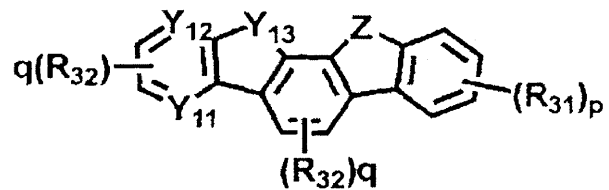


10

[化学式 1 1]



[化学式 1 2]



20

【 0 0 4 6】

式中、Zは - O -、 - S -、 - C (R_{4 1} R_{4 2}) -、 - N (R_{4 5}) - を表し；

Y_{1 1} ~ Y_{1 2} は C を表し；

Y_{1 3} は - N (R_{4 5}) - を表し；

R_{3 1} および R_{3 2} は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) ヘテロアリール、置換されている (C 1 - C 3 0) アルキルシリル基、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アリールシリル基、および置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル (C 6 - C 3 0) アリールシリル基を表し；

30

R_{4 1} ~ R_{4 2} は独立して、置換されているかもしくは置換されていない (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、および置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) ヘテロアリールを表し；

R_{4 5} は置換されている (C 1 - C 3 0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C 6 - C 3 0) アリール、および置換されているかもしくは置換されていない (C 3 - C 3 0) ヘテロアリールを表し；

p および q は独立して 0 ~ 4 の整数を表し； p もしくは q が 2 より大きい整数を表す場合には、それぞれの R_{3 1} および R_{3 2} は互いに同じかもしくは異なっていてよい。

40

【 0 0 4 7】

[化学式 3]

(C_z - L₂)_a - M

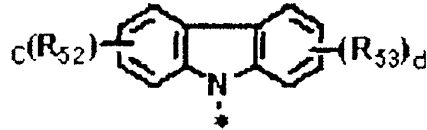
[化学式 4]

(C_z)_b - L₂ - M

式中、C_z は下記構造

【 0 0 4 8】

【化22】



【0049】

を有し、

$R_{52} \sim R_{53}$ は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) ヘテロアリール、 $R_{17} R_{18} R_{19} Si -$ を表し； $R_{17} \sim R_{19}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリールを表し；それぞれの R_{52} または R_{53} は互いに同じかもしくは異なっていてよく；

10

L_2 は化学結合、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリーレン、および置換されているかもしくは置換されていない (C5 - C30) ヘテロアリーレンを表し；

M は置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール基、および置換されているかもしくは置換されていない (C5 - C30) ヘテロアリールを表し；

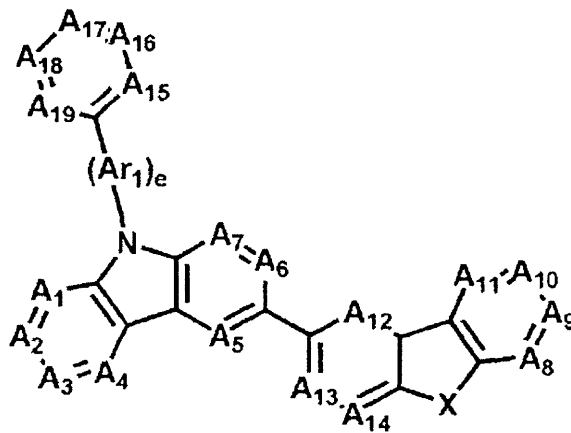
$a \sim d$ は独立して 0 ~ 4 の整数を表す。

20

【0050】

【化23】

[化学式5]



30

式中、 $A_1 \sim A_{14}$ は CR_{61} を表し；

$A_{15} \sim A_{19}$ は独立して CR_{61} もしくは N を表し；

X は $-N(R_{64})-$ 、 $-S-$ 、 $-O-$ 、および $-Si(R_{65})(R_{66})-$ を表し；

40

Ar_1 は置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C40) アリーレン、および置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C40) ヘテロアリーレンを表すが； $e = 0$ かつ $A_{15} \sim A_{19}$ が同時に CR_{61} を表す場合を除き；

R_{61} および $R_{64} \sim R_{66}$ は独立して水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) ヘテロアリール、 $NR_{71} R_{72}$ 、および $R_{79} R_{80} R_{81} Si -$ を表し；

$R_{71} \sim R_{72}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない (C3 - C30) ヘテロアリールを表

50

し；

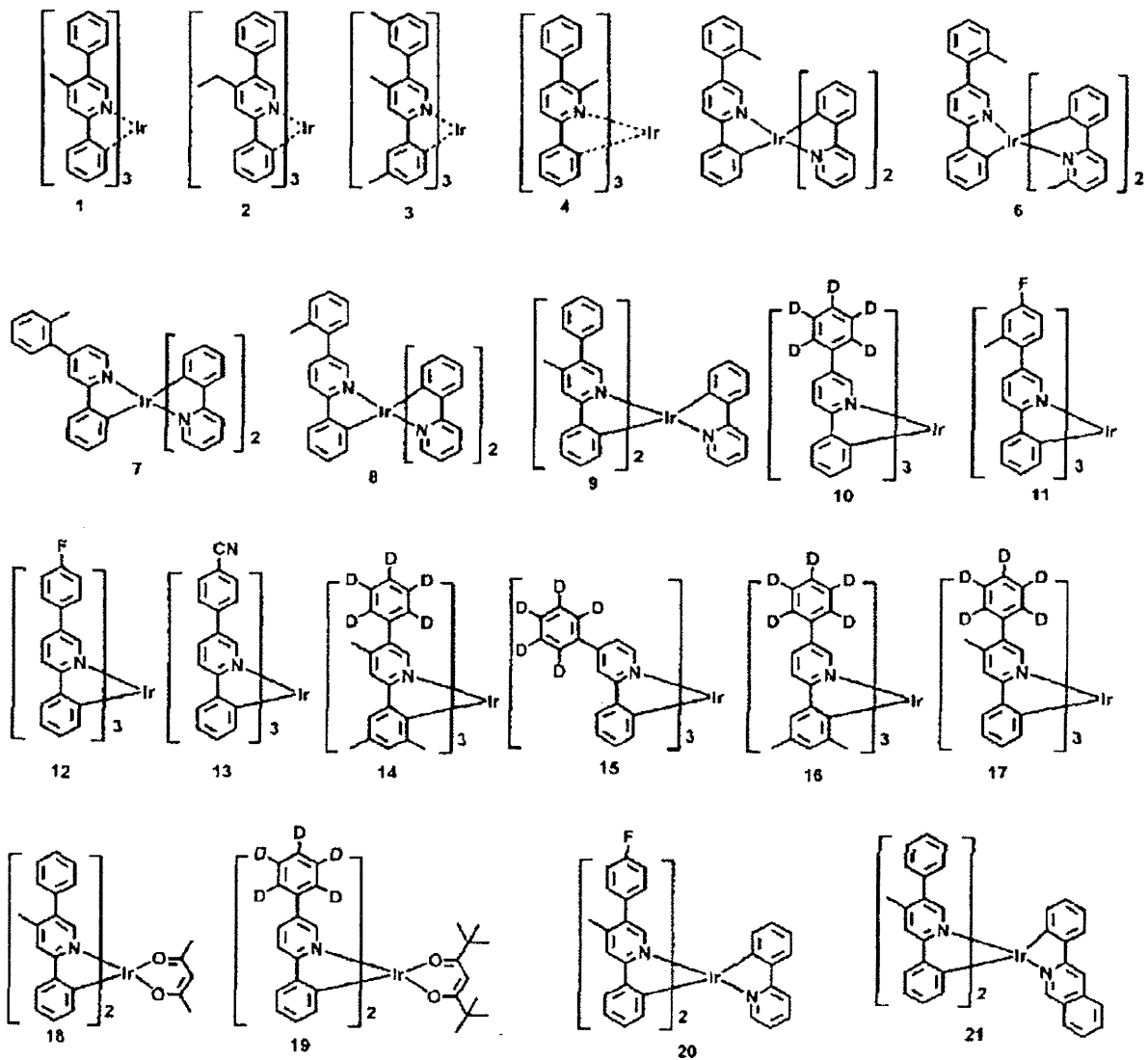
$R_{7,9} \sim R_{8,1}$ は独立して、置換されているかもしくは置換されていない (C1 - C30) アルキル、または置換されているかもしくは置換されていない (C6 - C30) アリールを表し；並びに

e は 0 ~ 2 の整数を表す。

【0051】

化学式 1 の有機電界発光化合物は下記化合物によって例示されうるが、これは本発明を限定することを意図していない。

【化 2 4】

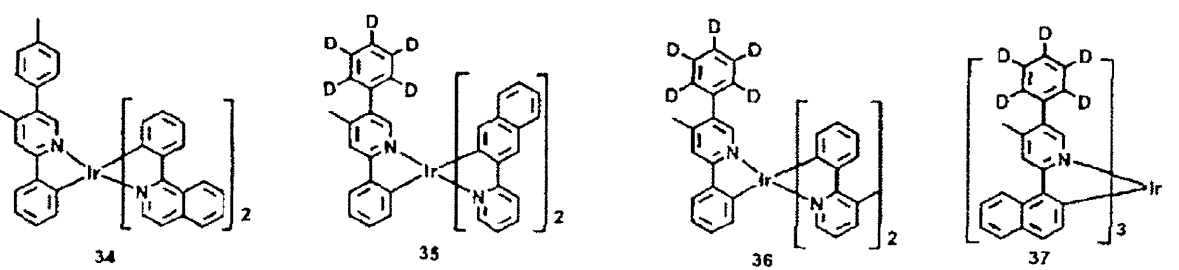
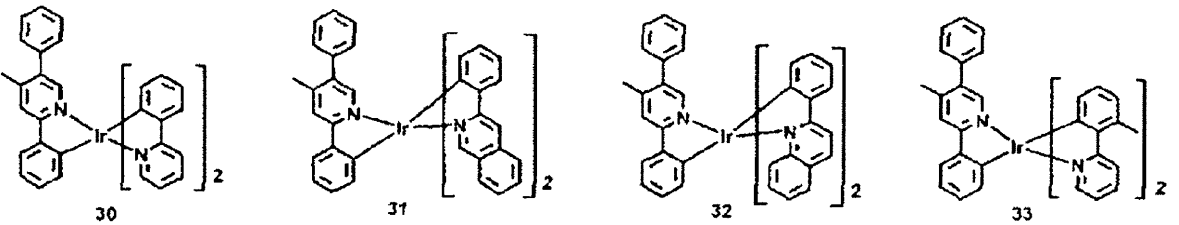
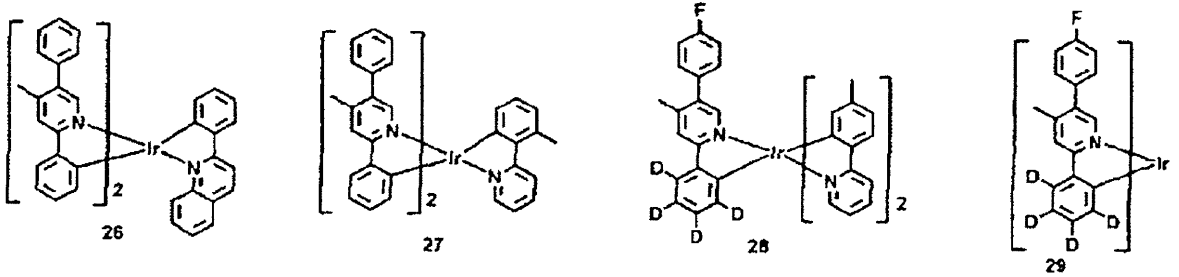
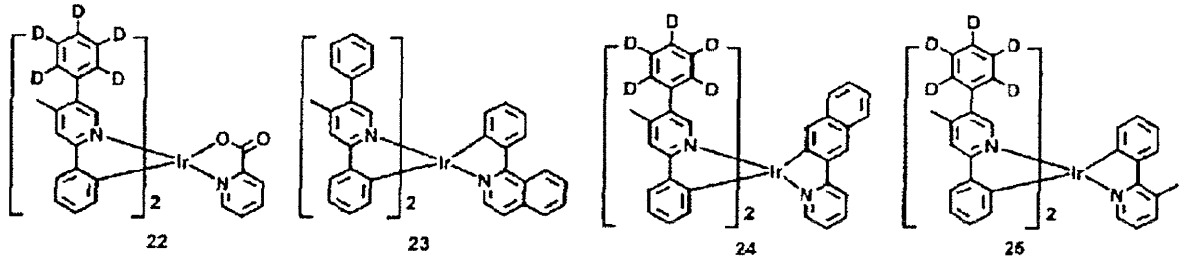


10

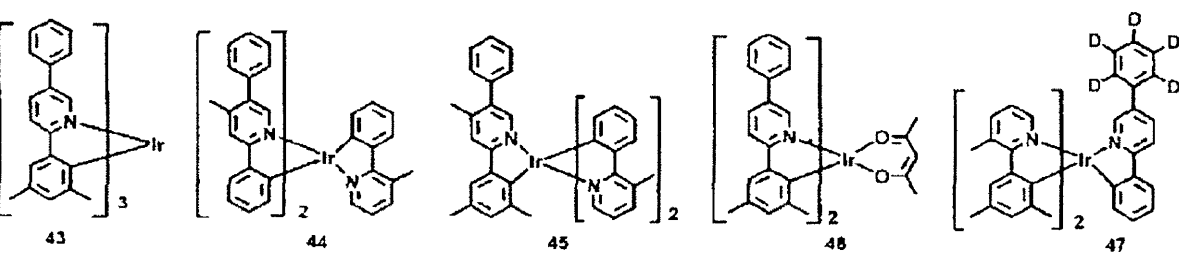
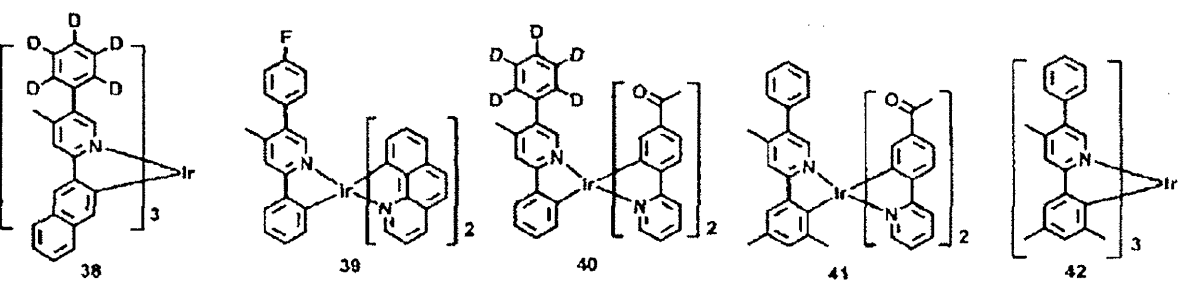
20

30

【化 2 5】



【化 2 6】



【 0 0 5 2】

化学式 2 ~ 5 の有機電界発光化合物は下記化合物によって例示されうるが、これは本発

10

20

30

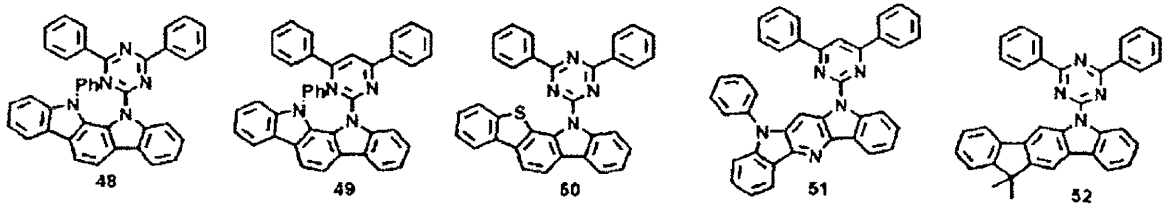
40

50

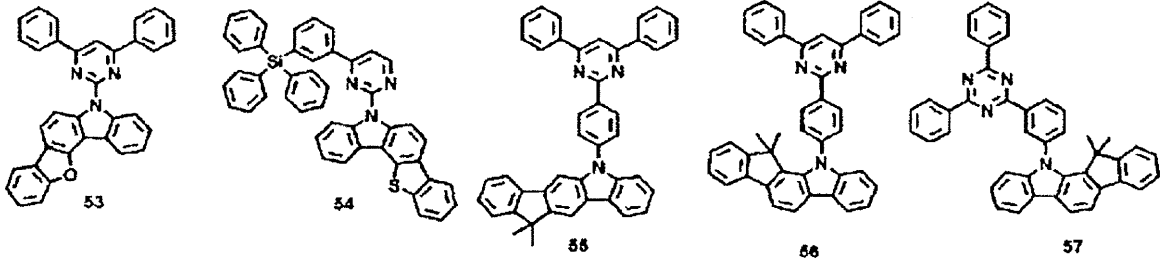
明を限定することを意図していない。

【0053】

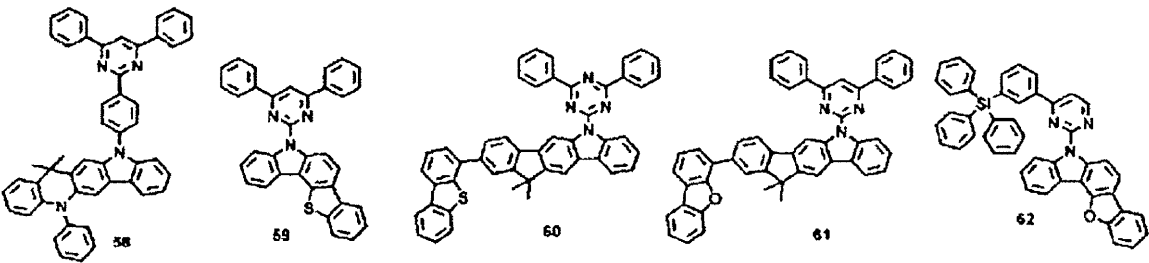
【化27】



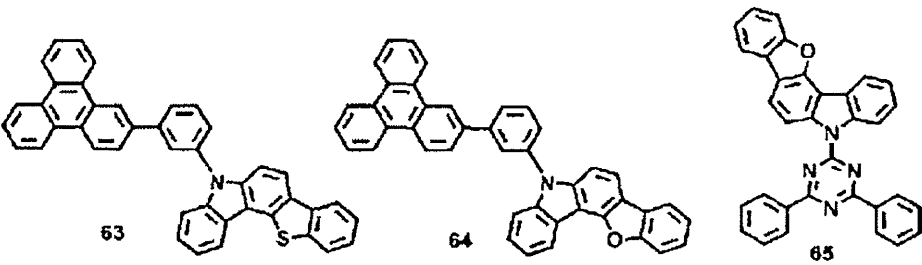
10



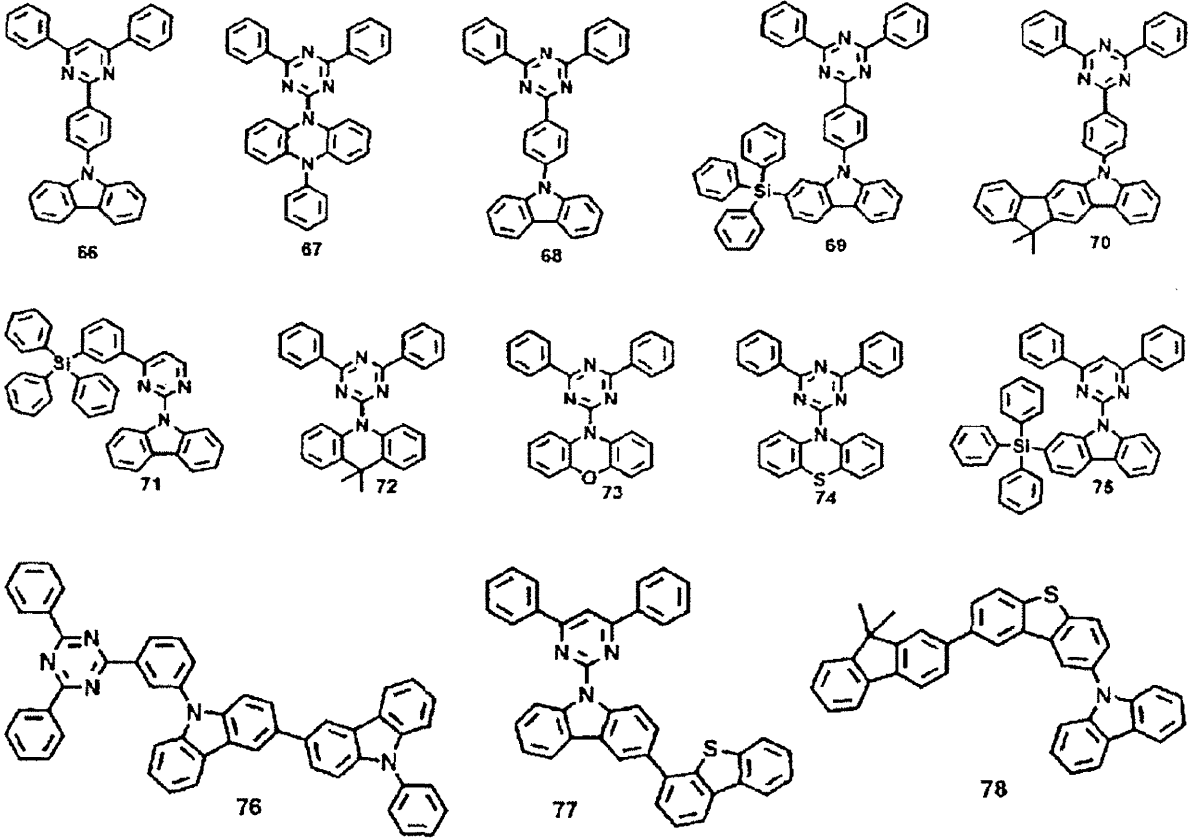
20



30



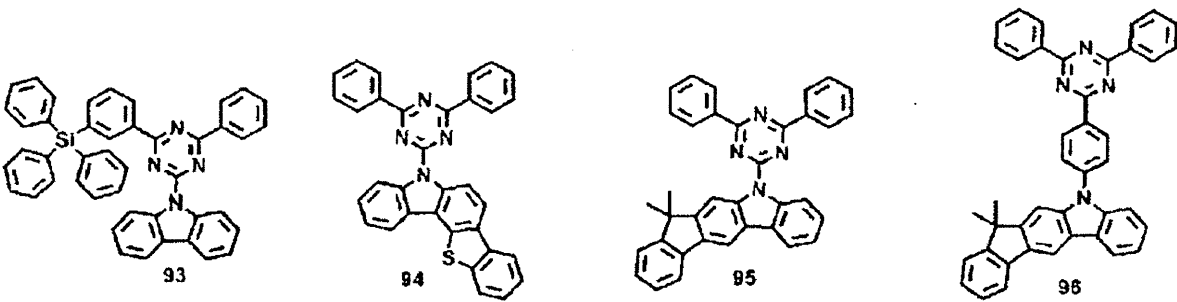
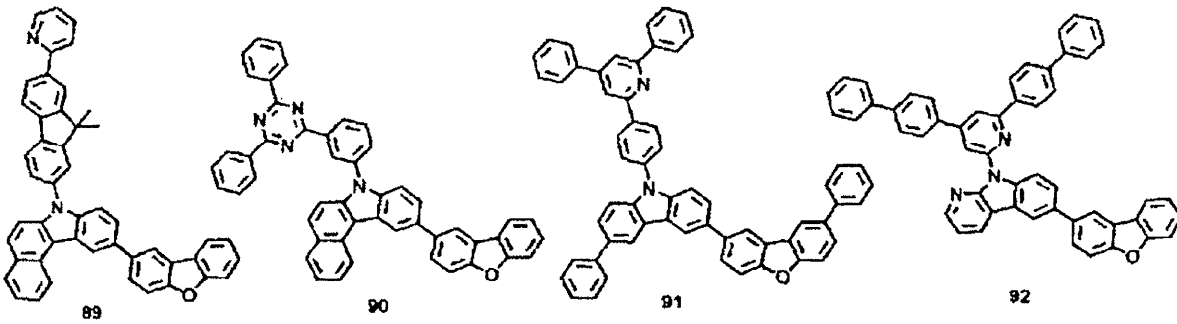
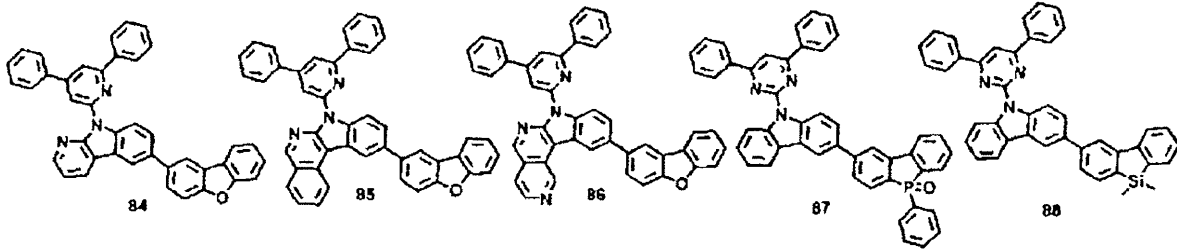
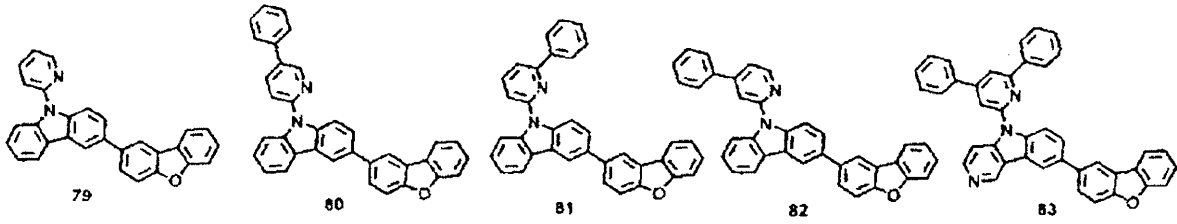
【化 28】



10

20

【化 2 9】

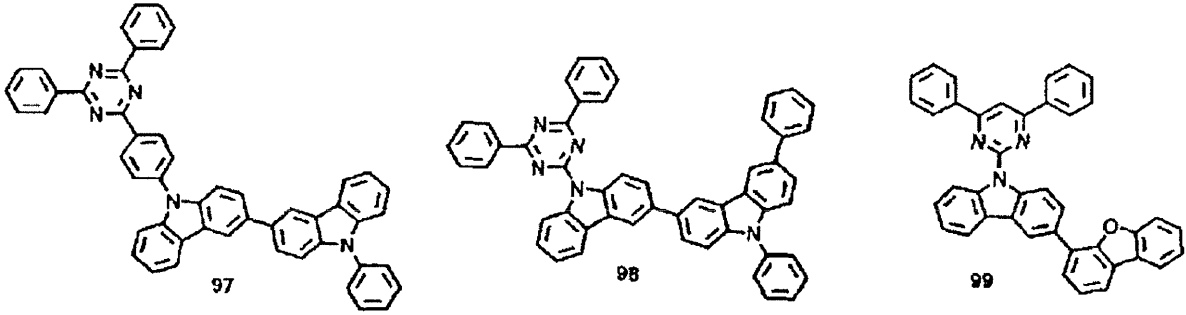


10

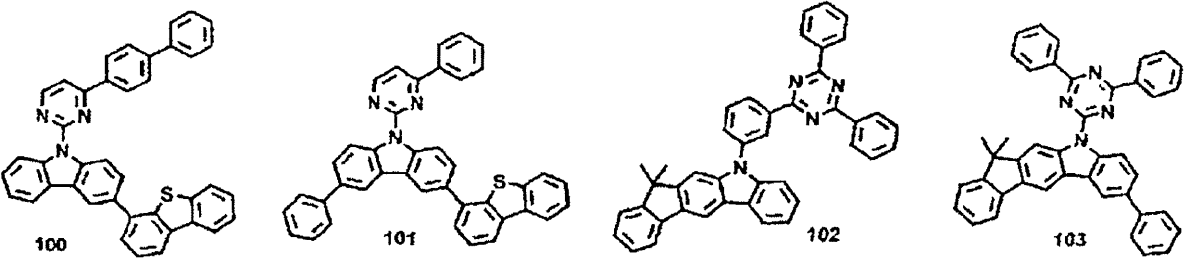
20

30

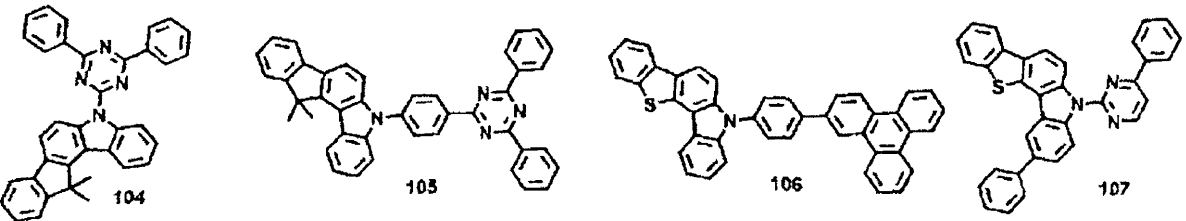
【化 3 0】



10



20



【 0 0 5 4】

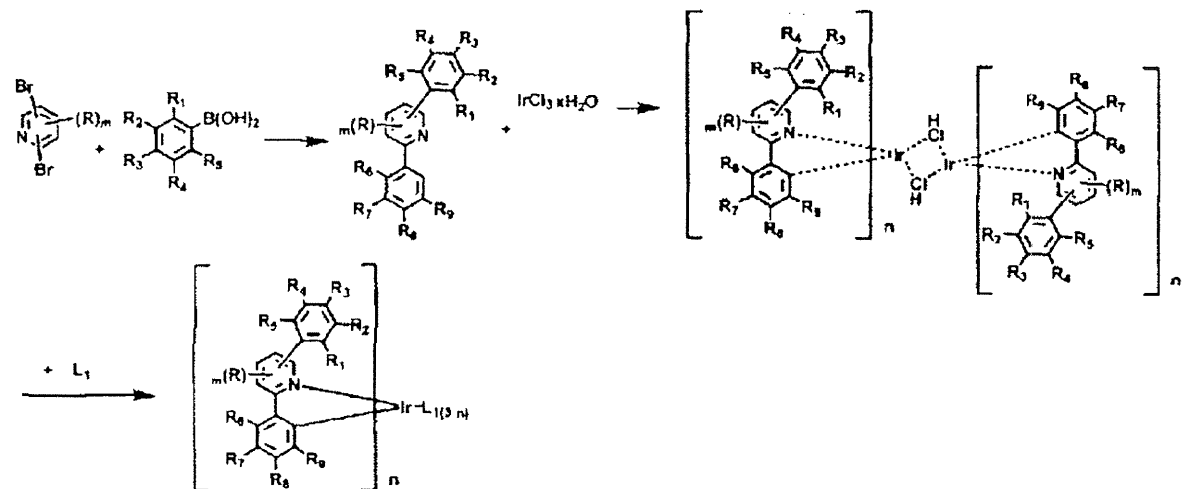
化学式 1 の化合物はスキーム 1 に示されるように製造されうる。下記の製造方法は化学式 1 の有機電界発光化合物を製造する方法を限定することを意図しておらず、かつ下記の製造方法の変更は当業者に自明であろう。

【 0 0 5 5】

30

【化 3 1】

[スキーム 1]



40

【 0 0 5 6】

スキーム 1 において、 L_1 、 R 、 $R_1 \sim R_9$ 、 n および m は化学式 1 において定義されるのと同じである。

【 0 0 5 7】

50

電界発光層は電界発光が起こる層を意味する。それは単層、または2以上の層が積層されている複数層を有しうる。ドーパントとホストとの組み合わせが本発明において使用される場合には、発光効率の著しい向上が確認されうる。

【0058】

さらに、電界発光層におけるホスト化合物に基づいたドーパント化合物のドーピング濃度は20重量%未満の範囲である。

【0059】

本発明の有機電界発光素子においては、有機層は化学式1~4の有機電界発光化合物に加えて、元素の周期表における第1族、第2族、第4周期および第5周期遷移金属、ランタニド金属並びにd-遷移元素の有機金属または錯体化合物からなる群から選択される1種以上の金属をさらに含むことができる。有機層は電界発光層および電荷発生層の両方を含むことができる。

10

【0060】

本発明の有機電界発光素子においては、有機層は、化学式1~4の有機電界発光化合物を含み、かつアリーールアミン系化合物およびスチリルアリーールアミン系化合物からなる群から選択される1種以上の化合物を同時に含むことができる。このアリーールアミン系化合物もしくはスチリルアリーールアミン系化合物の具体的な例は韓国特許出願第10-2008-0060393号の明細書における段落<212>~<224>に記載されているが、これに限定されない。化学式2~4の有機電界発光化合物の具体的な例は、韓国特許出願第10-2009-0027221号、第10-2009-0027256号、第10-2009-0037519号、第10-2009-0062882号、第10-2009-0067370号、第10-2009-0073260号、第10-2009-0123174号、第10-2010-0007866号、または第10-2010-0040384号に例示されるが、これらに限定されない。

20

【0061】

さらに、有機層は、この有機電界発光化合物に加えて、赤、緑もしくは青色電界発光化合物を含む1以上の有機電界発光層を同時にさらに含むことができ、それにより、白色光を放射する有機電界発光素子を製造することができる。赤色、緑色もしくは青色の光を放射する化合物は韓国特許出願第10-2008-0123276号、第10-2008-0107606号または第10-2008-0118428号に例示されるが、これらに

30

【0062】

本発明の有機電界発光素子においては、電極の対のうちの少なくとも一方の側の内側表面上に、カルコゲナイド(chalcogenide)層、ハロゲン化金属層および金属酸化物層から選択される少なくとも1層(以下、「表面層」という)を配置するのが好ましい。具体的には、電界発光媒体層のアノード表面上にケイ素およびアルミニウム金属のカルコゲナイド(酸化物など)層を配置し、並びに電界発光媒体層のカソード表面上にハロゲン化金属層または金属酸化物層を配置するのが好ましい。このことが駆動安定性が得られるのを可能にする。カルコゲナイドの例としては、 SiO_x ($1 < x < 2$)、 AlO_x ($1 < x < 1.5$)、 $SiON$ 、 $SiAlON$ などが挙げられることができ、ハロゲン化金属の例としては、 LiF 、 MgF_2 、 CaF_2 、希土類金属フッ化物などが挙げられることができ、金属酸化物の例としては、 Cs_2O 、 Li_2O 、 MgO 、 SrO 、 BaO 、 CaO などが挙げられうる。

40

【0063】

本発明の有機電界発光素子においては、このように製造される電極の対の少なくとも一方の表面上に、電子輸送化合物と還元性ドーパントとの混合領域、または正孔輸送化合物と酸化性ドーパントとの混合領域を配置するのも好ましい。それにより、電子輸送化合物がアニオンに還元され、これがこの混合領域から電界発光媒体への電子の注入または輸送を容易にする。さらに、正孔輸送化合物は酸化されてカチオンになり、これがこの混合領域から電界発光媒体への正孔の注入または輸送を容易にする。好ましい酸化性ドーパント

50

には様々なルイス酸およびアクセプター化合物が挙げられる。好ましい還元性ドーパントには、アルカリ金属、アルカリ金属化合物、アルカリ土類金属、希土類金属およびこれらの混合物が挙げられる。さらに、2以上の電界発光層を有する白色有機発光電界発光素子を製造するために、還元性ドーパントの層が電荷発生層として使用されうる。

【発明の効果】

【0064】

上述のように、本発明の特定のドーパント-ホスト有機電界発光化合物を使用した有機電界発光素子は、既存の電界発光材料を使用する素子と比較して、より良好な発光効率およびより低い駆動電圧でのより長い駆動寿命を有していた。ドーパントとホストとの特定の組み合わせは、優れた発光効率と長い駆動寿命を示すのに比較的適切な水準のエネルギーを有すると考えられる。

10

【発明を実施するための形態】

【0065】

以下、本発明の有機電界発光化合物、その製造方法、および素子の電解発光特性に関する実施例として本発明の代表的な化合物を採用することにより、本発明がさらに説明されるが、これらの実施例はその実施形態の例示だけのために提供されるのであって、本発明の範囲を限定することを意図していない。

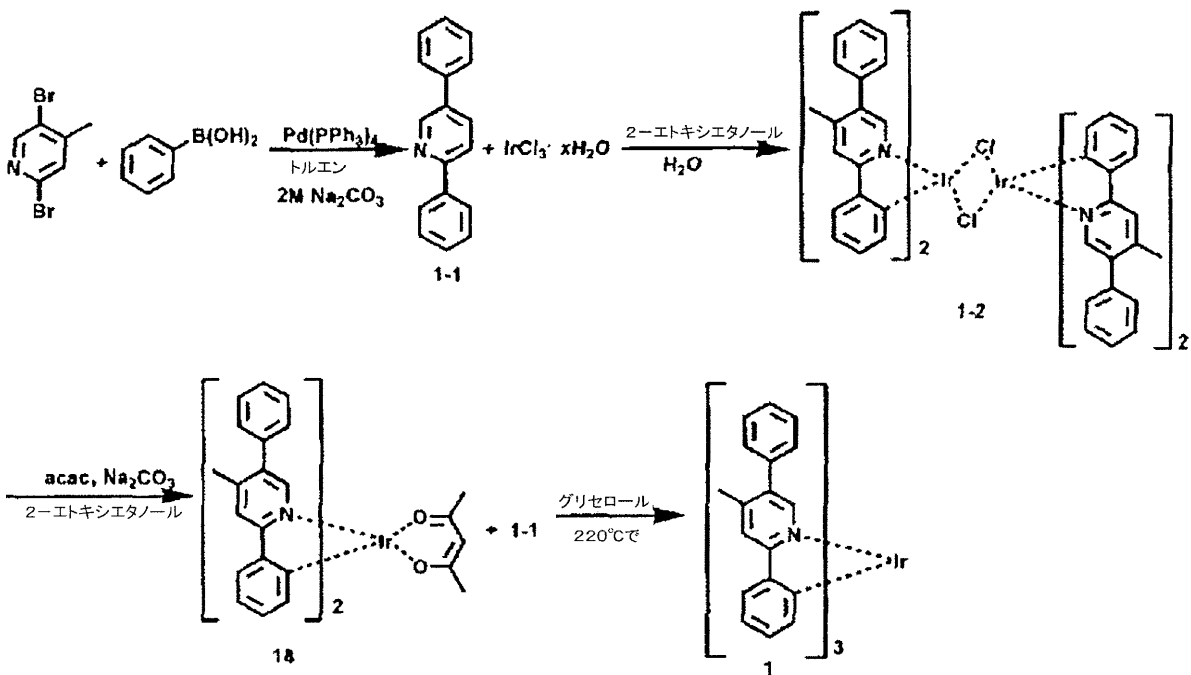
【実施例】

【0066】

[製造例1] 化合物1の製造

20

【化32】



30

【0067】

40

化合物1-1の製造

2,5-ジブromo-4-メチルピリジン 30 g (120 mmol)、フェニルボロン酸 44 g (359 mmol)、および $\text{Pd}(\text{PPh}_3)_4$ 48.3 g (7.17 mmol) がトルエン 400 mL、エタノール 200 mL、および 2 M の Na_2CO_3 300 mL 中で、窒素の存在下で溶かされ、次いで還流下 120 で攪拌された。2 時間後反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層は MgSO_4 で乾燥させられ、そしてロータリーエバポレータによって溶媒が除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製が行われて、それにより化合物 1-1 (15.3 g、61 mmol) を得た。

【0068】

50

化合物 1 - 2 の製造

化合物 1 - 2 20.1 g (82 mmol)、塩化イリジウム (IrCl_3) 11 g (37 mmol)、2-エトキシエタノール 450 mL、および蒸留水 150 mL が反応容器内に入れられ、次いで還流下で 24 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体物質が濾別された。このようにして得られた固体が水およびメタノールで洗浄され、そしてヘキサンを用いて再結晶化させられて、それにより化合物 1 - 2 17 g (12 mmol) を得た。

【0069】

化合物 18 の製造

化合物 1 - 2 17 g (12 mmol)、 Na_2CO_3 7.6 g (71 mmol)、および 2,4-ペンタンジオン 3.7 mL (37 mmol) が 2-エトキシエタノール 200 mL に溶かされ、次いで還流下で 5 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体がシリカゲルカラムクロマトグラフィを用いることによって分離され、そして再結晶化させられて、それにより化合物 18 13 g (17 mmol) を得た。

【0070】

化合物 1 の製造

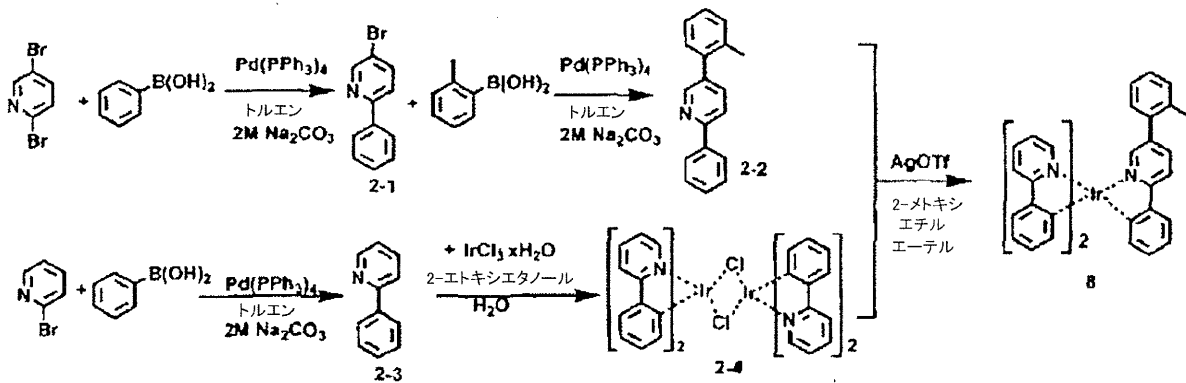
化合物 18 8 g (10.2 mmol)、化合物 1 - 1 5 g (20 mmol)、およびグリセロール 100 mL が還流下 220 で 12 時間攪拌され、次いで室温に冷却された。得られた混合物が水およびメタノールで洗浄され、次いで塩化メチレンに溶かされ、次いでシリカゲルカラムクロマトグラフィを用いる分離が行われて、それによりイリジウム錯化合物の黄色結晶である化合物 1 6 g (7 mmol) を得た。

MS/FAB 測定値 926、計算値 925.15。

【0071】

[製造例 2] 化合物 8 の製造

【化 33】



【0072】

化合物 2 - 1 の製造

2,5-ジプロモピリジン 5 g (21 mmol) が化合物 1 - 1 についての製造例 1 の製造方法と同じように処理され、それにより化合物 2 - 1 4 g (17 mmol) を得た。

【0073】

化合物 2 - 2 の製造

化合物 2 - 1 4 g (17 mmol)、o-トリルボロン酸 2.8 g (20 mmol)、および $\text{Pd}(\text{PPh}_3)_4$ 1 g (0.9 mmol) がトルエン 80 mL、エタノール 40 mL、および 2 M の Na_2CO_3 40 mL に、窒素の存在下で溶かされ、次いで、還流下 120 で攪拌された。2 時間後反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層は MgSO_4 で乾燥させられ、そしてロータリーエバポレータによって溶媒が除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精

製が行われて、それにより化合物 2 - 2 (4 g、 1 5 m m o l) を得た。

【 0 0 7 4 】

化合物 2 - 3 の製造

2 - プロモピリジン 5 g (2 1 m m o l) が化合物 1 - 1 についての製造例 1 の製造方法と同じように処理され、それにより化合物 2 - 3 4 g (1 7 m m o l) を得た。

【 0 0 7 5 】

化合物 2 - 4 の製造

化合物 2 - 3 4 g (1 5 m m o l)、塩化イリジウム (I r C l ₃) 2 g (6 . 8 m m o l)、2 - エトキシエタノール 9 0 m L および蒸留水 3 0 m L が一緒にされ、そして還流下で 2 4 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体が水およびメタノールで洗浄され、そしてヘキサンを用いて再結晶化させられて、それにより化合物 2 - 4 3 g (2 m m o l) を得た。

10

【 0 0 7 6 】

化合物 8 の製造

化合物 2 - 4 1 4 g (1 3 m m o l)、化合物 2 - 2 9 . 8 g (3 9 m m o l)、A g C F ₃ S O ₃ 1 0 g (3 9 m m o l)、および 2 - メトキシ - エチルエーテル 5 0 m L が還流下で 1 2 時間攪拌され、次いで室温まで冷却された。得られた混合物が水およびメタノールで洗浄され、次いでメタノール中に溶かされ、次いでシリカゲルクロマトグラフィを用いた分離が行われ、それによりイリジウム錯化合物の赤色結晶である化合物 8 3 . 5 g (4 . 5 m m o l) を得た。

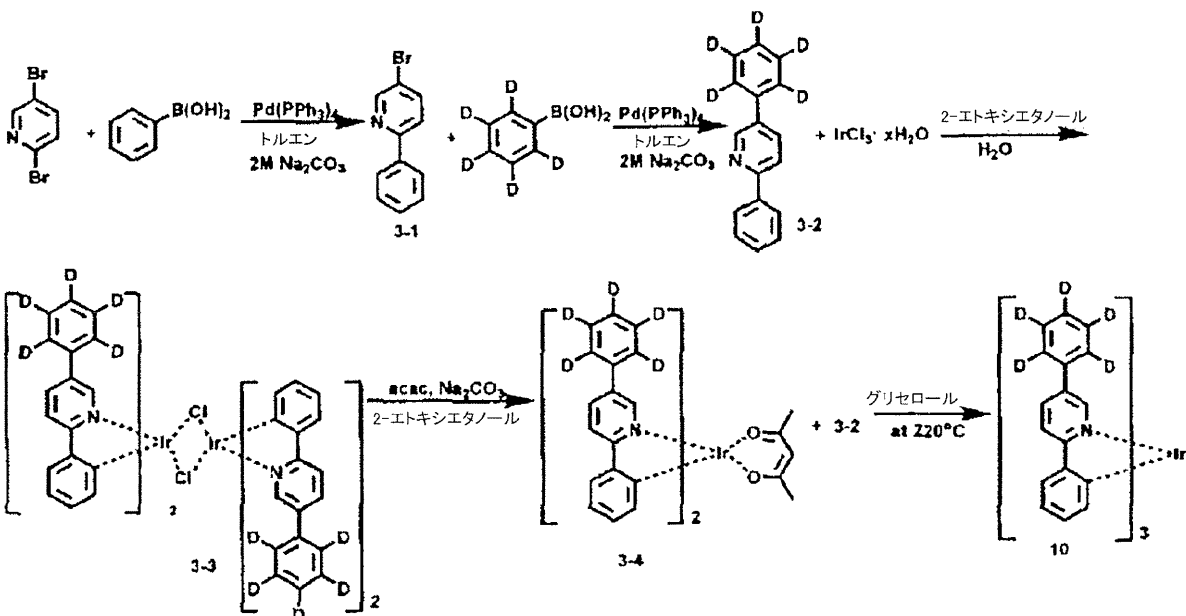
20

M S / F A B 測定値 7 4 5、計算値 7 4 4 . 9 0。

【 0 0 7 7 】

[製造例 3] 化合物 1 0 の製造

【 化 3 4 】



30

40

【 0 0 7 8 】

化合物 3 - 1 の製造

2 , 5 - ジプロモピリジン 5 g (2 1 m m o l) が化合物 1 - 1 についての製造例 1 の製造方法と同じように処理され、それにより化合物 3 - 1 2 . 6 g (1 1 m m o l) を得た。

【 0 0 7 9 】

化合物 3 - 2 の製造

化合物 3 - 1 2 . 6 g (1 1 m m o l)、d ⁵ - フェニルボロン酸 1 . 8 g (1 3 m

50

mol)、およびPd(PPh₃)₄ 0.7 g (0.6 mmol)がトルエン40 mL、エタノール20 mL、および2 MのNa₂CO₃ 20 mLに、窒素の存在下で溶かされ、次いで還流下120 で攪拌された。2時間後反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層はMgSO₄で乾燥させられ、そしてロータリーエバポレータによって溶媒が除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製が行われて、それにより化合物3-2 (2.2 g、9.3 mmol)を得た。

【0080】

化合物3-3の製造

化合物3-2 2.2 g (9.3 mmol)、塩化イリジウム(IrCl₃) 1.1 g (4.2 mmol)、2-エトキシエタノール45 mL、および蒸留水15 mLと一緒にされ、還流下で24時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体が水およびメタノールで洗浄され、そしてヘキサンを用いて再結晶化させられて、それにより化合物3-3 1.9 g (1.4 mmol)を得た。

10

【0081】

化合物の製造3-4

化合物3-3 1.9 g (1.4 mmol)、Na₂CO₃ 0.82 g (8.4 mmol)、および2,4-ペンタンジオン2.3 mL (4.2 mmol)が2-エトキシエタノール30 mLに溶かされ、次いで還流下で5時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体は、シリカゲルカラムクロマトグラフィを用いて分離され、そして再結晶化させられて、黄色結晶の化合物3-4 0.67 g (0.9 mmol)を得た。

20

【0082】

化合物10の製造

化合物3-4 1.4 g (1.8 mmol)、化合物3-2 0.85 g (3.6 mmol)およびグリセロール20 mLが還流下220 で12時間攪拌され、そして室温まで冷却された。この混合物は水およびメタノールで洗浄され、塩化メチレンに溶かされ、シリカゲルカラムクロマトグラフィによって分離され、それにより、黄色結晶のイリジウム錯化合物である化合物10 0.8 g (0.9 mmol)を得た。

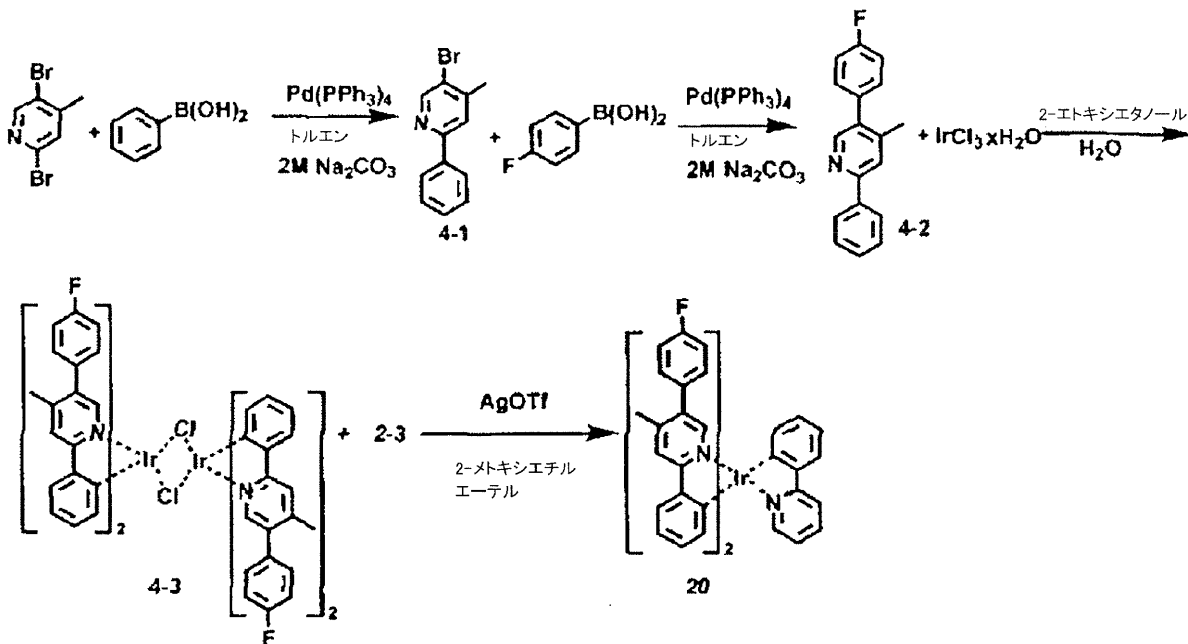
30

MS/FAB測定値899、計算値898.16。

【0083】

[製造例4]化合物20の製造

【化35】



10

【0084】

化合物 4 - 1 の製造

2, 5 - ジブromo - 4 - メチルピリジン 5 g (21 mmol) が化合物 1 - 1 についての製造例 1 の製造方法と同じように処理され、それにより化合物 4 - 1 (4 g (17 mmol)) を得た。

20

【0085】

化合物 4 - 2 の製造

化合物 4 - 1 (4 g (17 mmol))、4 - フルオロフェニルボロン酸 2.8 g (20 mmol)、および $\text{Pd}(\text{PPh}_3)_4$ 1 g (0.9 mmol) がトルエン 80 mL、エタノール 40 mL、および 2 M の Na_2CO_3 40 mL に、窒素の存在下で溶かされ、次いで還流下 120 で攪拌された。2 時間後反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層は MgSO_4 で乾燥させられ、そしてロータリーエバポレータによって溶媒が除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製が行われて、それにより化合物 4 - 2 (4 g、15 mmol) を得た。

30

【0086】

化合物 4 - 3 の製造

化合物 4 - 2 (4 g (15 mmol))、塩化イリジウム (IrCl_3) 2 g (6.8 mmol)、2 - エトキシエタノール 90 mL、および蒸留水 30 mL が一緒にされ、そして還流下で 24 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体が水およびメタノールで洗浄され、そしてヘキサンを用いて再結晶化させられて、それにより化合物 4 - 3 (3 g (2 mmol)) を得た。

40

【0087】

化合物 20 の製造

化合物 4 - 3 (14 g (13 mmol))、化合物 2 - 3 (9.8 g (39 mmol))、 AgCF_3SO_3 10 g (39 mmol)、2 - メトキシ - エチルエーテル 50 mL が還流下で 12 時間攪拌され、そして室温に冷却された。得られた物質は水およびメタノールで洗浄され、メタノールに溶かされ、そしてシリカゲルカラムクロマトグラフィを用いることにより分離され、それにより赤色結晶のイリジウム錯化合物である化合物 20 (3.5 g (4.5 mmol)) を得た。

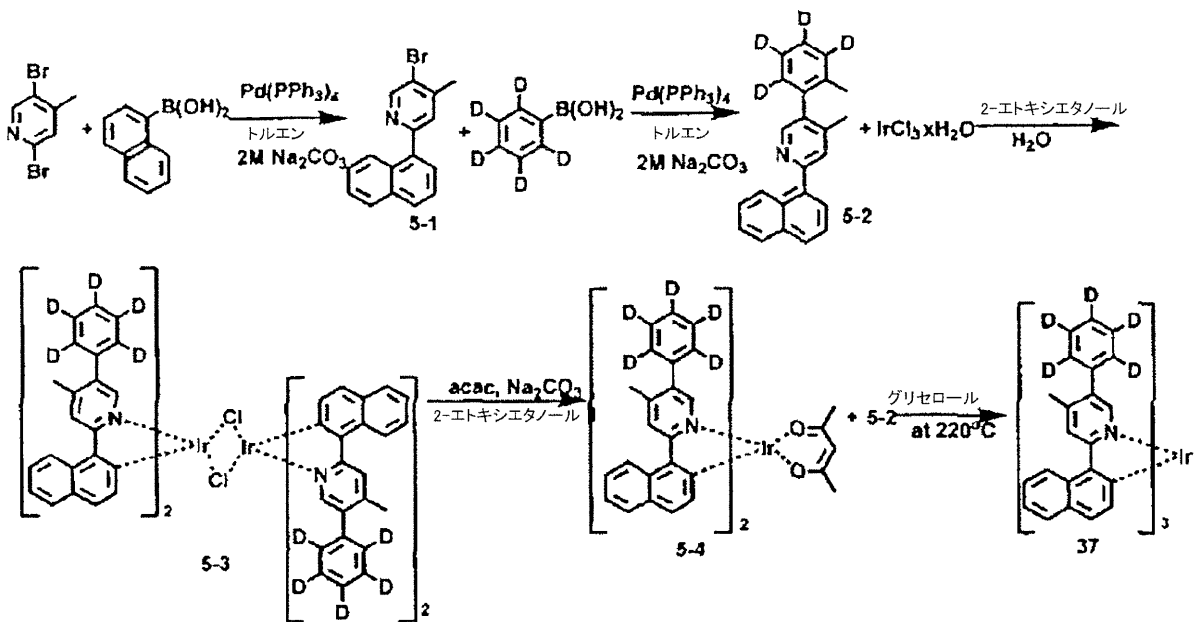
MS / FAB 測定値 782、計算値 871.01。

【0088】

50

[製造例 5] 化合物 37 の製造

【化 36】



10

20

30

40

50

【 0 0 8 9 】

化合物 5 - 1 の製造

2, 5 - ジブromo - 4 - メチルピリジン 5 g (2 1 m m o l)、ナフタレン - 1 - イルボロン酸 2 . 6 g (2 1 m m o l)、および $\text{Pd}(\text{PPh}_3)_4$ 1 . 3 g (1 . 1 m m o l) がトルエン 5 0 m L、エタノール 2 5 m L、および 2 M の Na_2CO_3 2 5 m L に、窒素の存在下で溶かされ、次いで還流下 1 2 0 で攪拌された。2 時間後反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層は MgSO_4 で乾燥させられ、そしてロータリーエバポレータによって溶媒が除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製が行われて、それにより化合物 5 - 1 (2 . 6 g、1 1 m m o l) を得た。

【 0 0 9 0 】

化合物 5 - 2 の製造

化合物 5 - 1 2 . 6 g (1 1 m m o l)、 d^5 - フェニルボロン酸 1 . 8 g (1 3 m m o l)、および $\text{Pd}(\text{PPh}_3)_4$ 0 . 7 g (0 . 6 m m o l) が、トルエン 4 0 m L、エタノール 2 0 m L および 2 M の Na_2CO_3 2 0 m L に、窒素の存在下で溶かされ、次いで還流下 1 2 0 で攪拌された。2 時間後反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層は MgSO_4 で乾燥させられ、そしてロータリーエバポレータによって溶媒が除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製が行われて、それにより化合物 5 - 2 (2 . 2 g、9 . 3 m m o l) を得た。

【 0 0 9 1 】

化合物 5 - 3 の製造

化合物 5 - 2 2 . 2 g (9 . 3 m m o l)、塩化イリジウム (IrCl_3) 1 . 1 g (4 . 2 m m o l)、2 - エトキシエタノール 4 5 m L、および蒸留水 1 5 m L が一緒にされ、そして還流下で 2 4 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体が水およびメタノールで洗浄され、そしてヘキサンを用いて再結晶化させられて、それにより化合物 5 - 3 1 . 9 g (1 . 4 m m o l) を得た。

【 0 0 9 2 】

化合物 5 - 4 の製造

化合物 5 - 3 1 . 9 g (1 . 4 m m o l)、 Na_2CO_3 0 . 8 2 g (8 . 4 m m o l)

01)、および2,4-ペンタンジオン2.3 mL(4.2 mmol)が、2-エトキシエタノール30 mLに溶かされ、次いで還流下で5時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が室温に冷却され、沈殿した固体が濾別された。このようにして得られた固体は、シリカゲルカラムクロマトグラフィを用いて分離され、そして再結晶化させられて、それにより黄色結晶である化合物5-4 0.67 g(0.9 mmol)を得た。

【0093】

化合物37の製造

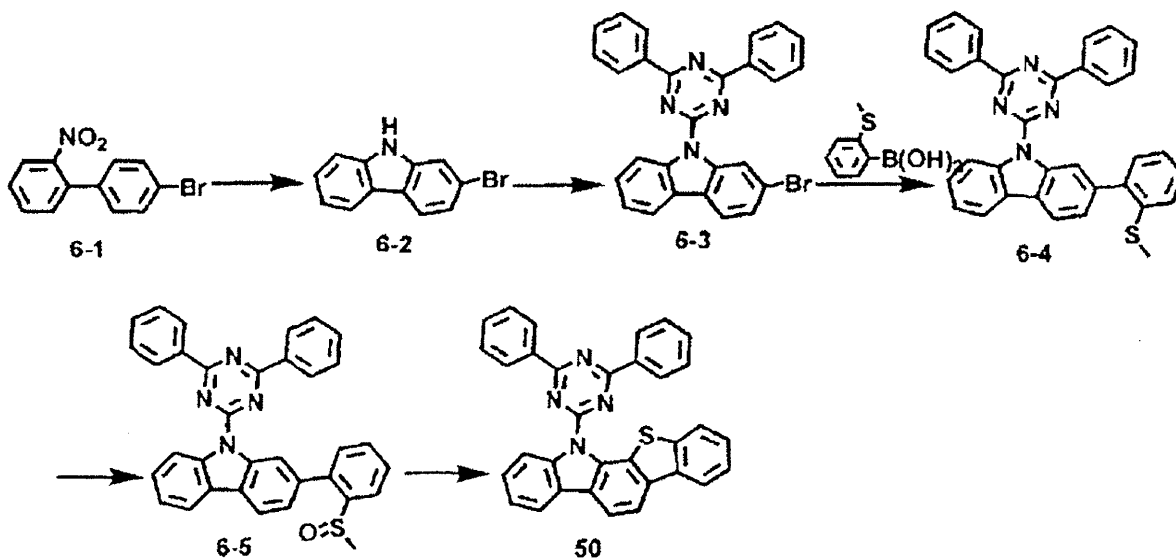
化合物5-4 1.4 g(1.8 mmol)、化合物5-2、およびグリセロール20 mLが還流下220 で12時間攪拌され、そして室温に冷却された。この混合物は水およびメタノールで洗浄され、塩化メチレンに溶かされ、そしてシリカゲルカラムクロマトグラフィによって分離されて、それによりイリジウム錯化合物の黄色結晶である化合物37 0.8 g(0.9 mmol)を得た。

MS/FAB測定値1091、計算値1090.42。

【0094】

[製造例6]化合物50の製造

【化37】



【0095】

化合物6-2の製造

化合物6-1 28 g(100.68 mmol)がトリエチルホスフィット300 mLと混合され、次いでこの混合物が150 で攪拌された。6時間後、得られた物質は室温に冷却され、次いで減圧下で蒸留され、その後EAでの抽出が行われ、そして蒸留水の洗浄が行われた。次いで、硫酸マグネシウムでの乾燥、減圧下での蒸留、次いでカラム分離が行われ、それにより化合物6-2 11 g(44.69 mmol、44.38%)を得た。

【0096】

化合物6-3の製造

化合物6-2 11 g(44.69 mmol)、2-クロロ-4,6-ジフェニル-1,3,5-トリアジン 18.23 g(89.39 mmol)、CuI 4.25 g(22.34 mmol)、K₃PO₄ 28.4 g(134.09 mmol)、トルエン200 mLが混合され、次いでこの混合物が50 に加熱された。エチレンジアミン3.01 mL(44.69 mmol)がその中に入れられ、そして還流下で攪拌された。14時間後、得られた物質が室温まで冷却され、次いでこれに蒸留水が加えられ、その後、EAでの抽出および硫酸マグネシウムでの乾燥が行われた。得られた物質は減圧下で蒸留され、次いでカラム分離を行い、それにより化合物6-3 12 g(37.24 mmol、83.32%)を得た。

10

20

30

40

50

【0097】

化合物6-4の製造

化合物6-3 12 g (37.42 mmol)、2-(メチルチオ)フェニルボロン酸 7.5 g (44.69 mmol)、Pd(PPh₃)₄ 2.15 g (1.6 mmol)、2 MのNa₂CO₃水溶液45 ml、およびTHF 200 mlが混合され、次いで還流下で攪拌された。5時間後、得られた物質が室温まで冷却され、次いでEAで抽出され、その後蒸留水での洗浄を行った。次いで、硫酸マグネシウムでの乾燥、減圧下での蒸留、次いでカラム分離が行われ、それにより化合物6-4 10 g (27.36 mmol、73.47%)を得た。

【0098】

化合物6-5の製造

化合物6-4 10 g (27.36 mmol)が酢酸100 mlに添加され、そしてその中にH₂O₂ 2.65 ml (30.09 mmol、35%)がゆっくりと添加された。混合物が室温で12時間攪拌され、そしてこの酢酸が減圧下で蒸留された。残留物はジクロロメタンで抽出され、そしてNaHCO₃水溶液で中和された。次いで、硫酸マグネシウムでの乾燥、および減圧下での蒸留が行われ、それにより化合物6-5 10 g (26.21 mmol、95.79%)を得た。

【0099】

化合物50の製造

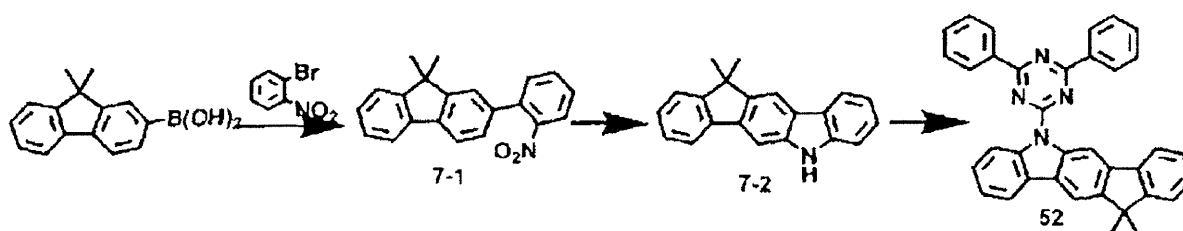
化合物6-5 10 g (26.21 mmol)がトリフルオロメタンスルホン酸70 mlと混合され、次いでこの混合物が100 で攪拌された。5時間後、得られた物質は室温に冷却され、次いでピリジン-蒸留水(1:5の比率)100 mlに添加された。得られた物質は還流下で1時間攪拌され、そして室温まで冷却された。生じた固体は減圧下で濾別され、次いでカラム分離を行い、それにより化合物50 6 g (17.16 mmol、65.47%)を得た。

MS/FAB測定値505、計算値504.60。

【0100】

[製造例7]化合物52の製造

【化38】



【0101】

化合物7-1の製造

1-ブロモ-2-ニトロベンゼン15 g (0.074 mol)が1 Lの2つ口RBFに入れられ、この中に9,9-ジメチル-9H-フルオレン-2-イルボロン酸23 g (0.096 mol)、Pd(PPh₃)₄ 4.2 g (0.003 mol)、Na₂CO₃ (2 M) 111 ml、およびEtOH 111 mlが添加され、そしてトルエン200 mlがこの中に添加された。次いで、得られた混合物が120 に加熱され、次いで3時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質が蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。この有機層がMgSO₄で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いる精製が行われて、それにより化合物7-1 22 g (95%)を得た。

【0102】

化合物7-2の製造

化合物7-1 24 g (0.076 mol)が1 Lの2つ口RBFに入れられ、そして

これに、トリエチルホスフィット 200 ml および 1, 2 - ジクロロベンゼン 200 ml が添加された。生じた混合物は 140 に加熱されて、次いで 12 時間攪拌された。反応の完了時に、溶媒が蒸留され、次いで蒸留水での洗浄、および酢酸エチルでの抽出が行われた。この有機層が $MgSO_4$ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いる精製が行われて、それにより化合物 7 - 2 7 g (33%) を得た。

【0103】

化合物 52 の製造

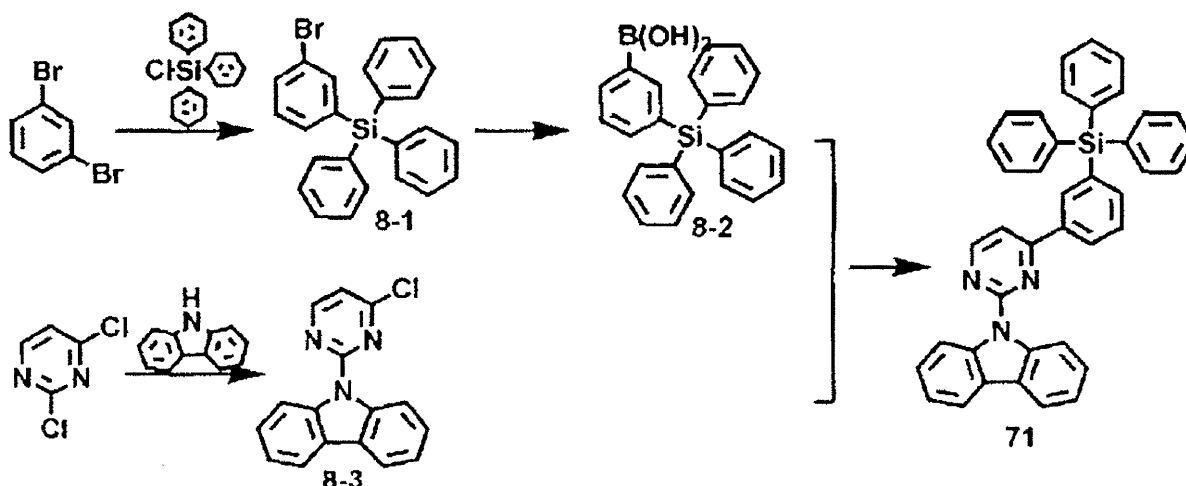
NaH (鋳油中 60%) 575 mg (14.38 mmol) が DMF 30 mL 中で蒸留された。化合物 7 - 2 2.5 g (11.50 mmol) が DMF 20 mL に溶かされ、そして得られた溶液が上記希釈された溶液に添加された。次いで、この混合溶液が室温で 1 時間攪拌された。2 - クロロ - 4, 6 - ジフェニル - 1, 3, 5 - トリアジン 3.0 g (11.50 mmol) が DMF 20 mL に溶かされ、次いで、この溶液が上記攪拌された溶液に添加された。得られた混合物は室温で 3 時間攪拌され、そして、水 500 mL がこれに添加された。生じた固体が減圧下で濾別され、そしてこのようにして得られた固体は DMF および EA で再結晶化させられ、それにより化合物 52 2.8 g (54%) を得た。

MS / FAB 測定値 515、計算値 514.62。

【0104】

[製造例 8] 化合物 71 の製造

【化 39】



【0105】

化合物 8 - 1 の製造

1, 3 - ジブロモベンゼン 20 g (84.77 mmol) が THF 500 mL に溶かされ、次いで -78 の温度に冷却された。これに $n - BuLi$ 2.5 M 33.9 mL (84.77 mmol) がゆっくりと添加され、次いで、-78 の温度で 1 時間攪拌された。クロロトリフェニルシラン ($(C_6H_5)_3SiCl$) 29.9 g が THF 100 mL に溶かされ、そしてこの溶液が上記反応混合物に添加された。得られた混合物は室温までゆっくりと暖められ、そして 12 時間攪拌された。次いで、EA での抽出、蒸留水および NaCl 水溶液での洗浄、 $MgSO_4$ での乾燥、減圧下での蒸留、および MC - MeOH (1 : 10 の比率) を用いた再結晶化が逐次行われ、それにより化合物 8 - 1 18 g (95%) を得た。

【0106】

化合物 8 - 2 の製造

化合物 8 - 1 20 g (90.06 mmol) が THF 600 mL に溶かされ、次いで -78 に冷却された。これに、 $n - BuLi$ 2.5 M 43.2 mL (108.08 mmol) がゆっくりと添加され、次いで -78 で 1 時間攪拌された。これにホウ酸ト

リメチル 16.06 mL (144.11 mmol) が添加された。得られた混合物は室温までゆっくりと暖められ、そして12時間攪拌された。次いで、EAでの抽出、蒸留水およびNaCl水溶液での洗浄、MgSO₄での乾燥、減圧下での蒸留、およびMC-MeOH (1:10の比率)を用いた再結晶化が逐次行われ、それにより化合物8-2 12 g (35%)を得た。

【0107】

化合物8-3の製造

NaH (鉱油中60%) 3.3 g (83.90 mmol) がDMF 10 mL中に希釈された。カルバゾール 11.2 g (67.12 mmol) がDMF 60 mL中に溶かされ、そしてこの溶液が上記反応液に添加され、次いで室温で1時間攪拌された。2,4-ジクロロピリミジン 10 g (67.12 mmol) がDMF 60 mLに溶かされ、そしてこの溶液が上記反応液に添加された。得られた材料は室温で4時間攪拌され、次いでこれに40 mLの蒸留水が添加された。次いで、MCでの抽出、蒸留水およびNaCl水溶液での洗浄、MgSO₄での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラムクロマトグラフィを用いた精製が逐次行われ、それにより化合物8-3 4.0 g (21%)を得た。

10

【0108】

化合物71の製造

化合物8-3 3.8 g (13.58 mmol)、化合物8-2 6.2 g (16.30 mmol)、Pd(PPh₃)₄ 784 mg (0.67 mmol)、2 MのNa₂CO₃水溶液 70 mL、EtOH 50 mL、およびトルエン 200 mLが投入され、次いで還流下 120 で12時間攪拌された。得られた物質は室温まで冷却され、次いでEAでの抽出、蒸留水およびNaCl水溶液での洗浄、EAを用いた再結晶化を行い、それにより化合物71 5.5 g (69%)を得た。

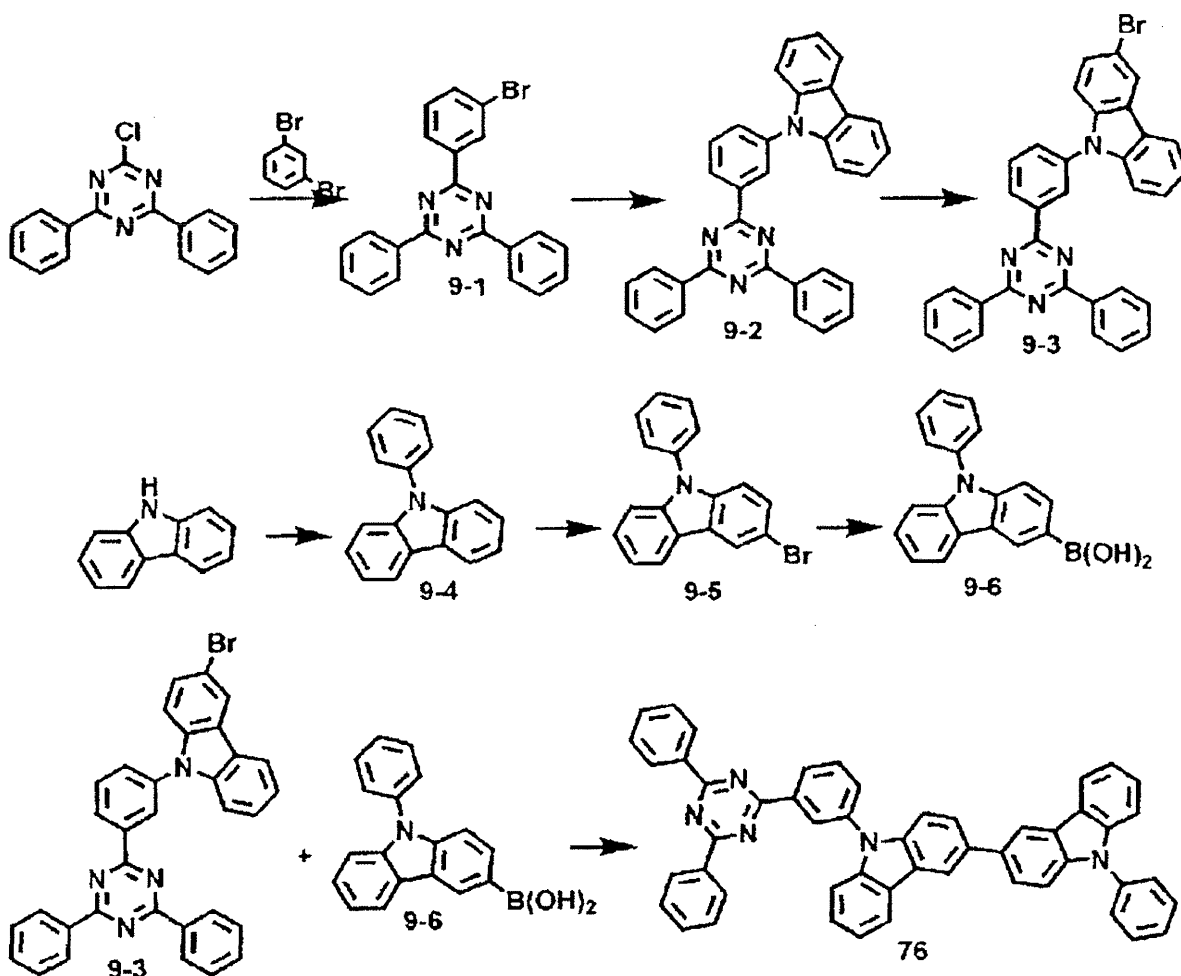
20

MS/FAB測定値 580、計算値 579.76。

【0109】

[製造例9] 化合物76の製造

【化40】



10

20

【0110】

化合物9-1の製造

1,3-ジプロモベンゼン 28 g (0.119 mol) が THF 600 mL に溶かされ、次いでこれに、*n*-BuLi 47.5 mL がゆっくりと滴下添加され、次いで、1時間攪拌を行った。2-クロロ-4,6-ジフェニル-1,3,5-トリアジン 47.5 mL がこれにゆっくりと滴下添加され、温度がゆっくりと上昇した後、得られた混合物が室温で5時間攪拌された。反応が完了した後で、EAおよび蒸留水での抽出、並びにカラム分離が逐次的に行われ、それにより化合物9-1 15.7 g (40.43 mmol, 40.4%) を得た。

30

【0111】

化合物9-2の製造

9H-カルバゾール 10 g (41.10 mmol) および化合物9-1 15.7 g (40.43 mmol) が、Pd(OAc)₂ 0.46 g、NaOt-bu 7.9 g (82.20 mmol)、トルエン 100 mL、および P(*t*-bu)₃ 2 mL (4.11 mmol、トルエン中 50%) に添加され、そして還流下で攪拌された。10時間後、得られた物質は室温まで冷却された。それに蒸留水が添加され、次いでEAでの抽出が行われ、MgSO₄での乾燥を行い、減圧下で乾燥させ、そしてカラム分離を行って、それにより化合物9-2 12.5 g (26.34 mmol, 65.2%) を得た。

40

【0112】

化合物9-3の製造

化合物9-2 12.5 g (26.34 mmol) が1つ口フラスコに入れられ、これは次いで真空雰囲気下でアルゴンで満たされた。テトラヒドロフラン 500 mL がこれに添加され、次いで0 で10分間攪拌された。これに、NBS 7.35 g (40.78

50

mmol)が添加され、室温で1日間攪拌された。反応の完了時に、得られた反応物質が蒸留水およびEAで抽出された。有機層はMgSO₄で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いで、展開溶媒としてヘキサンおよびEAを用いたカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物9-3 9.8g(17.71mmol、67.3%)を得た。

【0113】

化合物9-4の製造

9H-カルバゾール70g(0.42mmol)、ヨードベンゼン46mL、Cu 40g、炭酸カリウム174g、18-クラウン-6 9g、および1,2-ジクロロベンゼン2Lが全て入れられ、次いで、還流下で12時間攪拌された。反応の完了時に、EAでの抽出、MgSO₄での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラムクロマトグラフィが逐次的に行われ、それにより化合物9-4 63.4g(260.58mmol、62%)を得た。

10

【0114】

化合物9-5の製造

化合物9-4 63.4g(260.58mmol)が1つ口フラスコに入れられ、次いでこれは真空雰囲気下でアルゴンで満たされた。これに、テトラヒドロフラン500mLが添加され、次いで0で10分間攪拌された。これに、NBS 7.35g(40.78mmol)が添加され、室温で1日間攪拌された。反応の完了時に、得られた反応物質が蒸留水およびEAで抽出された。有機層はMgSO₄で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いで、展開溶媒としてヘキサンおよびEAを用いたカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物9-5 52.4g(162.63mmol、62.4%)を得た。

20

【0115】

化合物9-6の製造

化合物9-5 52.4g(162.63mmol)が1つ口フラスコに入れられ、次いでこれは真空雰囲気下でアルゴンで満たされた。これに、テトラヒドロフラン500mLが添加され、次いで-78で10分間攪拌された。これに、n-BuLi(ヘキサン中2.5M)15.8mL(39.45mmol)が滴下添加され、次いで-78で1時間30分間攪拌された。これに、ホウ酸トリメチル4.85mL(39.45mmol)が-78で添加され、次いで-78で30分間攪拌され、次いで、室温で4時間攪拌された。反応の完了時に、得られた反応物質が蒸留水およびEAで抽出された。有機層はMgSO₄で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いで、展開溶媒としてヘキサンおよびEAを用いたカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物11-6 20.3g(70.70mmol、43%)を得た。

30

【0116】

化合物76の製造

化合物9-3 9.8g(17.71mmol)、化合物9-6 20.3g(70.70mmol)、Pd(PPh₃)₄ 0.8g(0.7mmol)、2MのK₂CO₃水溶液20mL、トルエン100mLおよびエタノール50mLが投入され、次いで、還流下で12時間攪拌された。次いで、蒸留水での洗浄、EAでの抽出、MgSO₄での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラム分離が逐次的に行われ、それにより化合物76 5.7g(7.96mmol、50%)を得た。

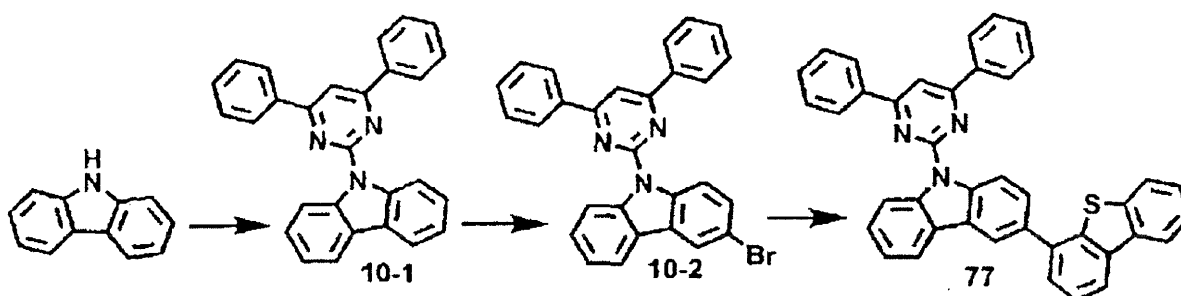
40

MS/FAB測定値716、計算値715.84。

【0117】

[製造例10]化合物77の製造

【化41】



【0118】

化合物10-1の製造

NaH 1.57 g (39.36 mmol、鉱油中60%)がDMF 70 mLと混合され、そして2-クロロ-4,6-ジフェニルピリミジン 7 g (26.24 mmol)がDMF 60 mLに溶かされた。1時間後、9H-カルバゾールがDMF 70 mLに溶かされ、次いで10時間攪拌された。次いで、水の添加、EAでの抽出、MgSO₄での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラム分離が逐次的に行われ、それにより化合物10-1 7 g (14.78 mmol、56.33%)を得た。

【0119】

化合物10-2の製造

化合物10-1 7 g (14.78 mmol)が1つ口フラスコに入れられ、次いで、それは真空雰囲気下でアルゴンで満たされた。これに、テトラヒドロフラン500 mLが添加され、次いで0で10分間攪拌された。これに、NBS 7.35 g (40.78 mmol)が添加され、室温で1日間攪拌された。反応の完了時に、得られた反応物質が蒸留水およびEAで抽出された。有機層はMgSO₄で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いで、展開溶媒としてヘキサンおよびEAを用いたカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物10-2 5.7 g (11.97 mmol、80.9%)を得た。

【0120】

化合物77の製造

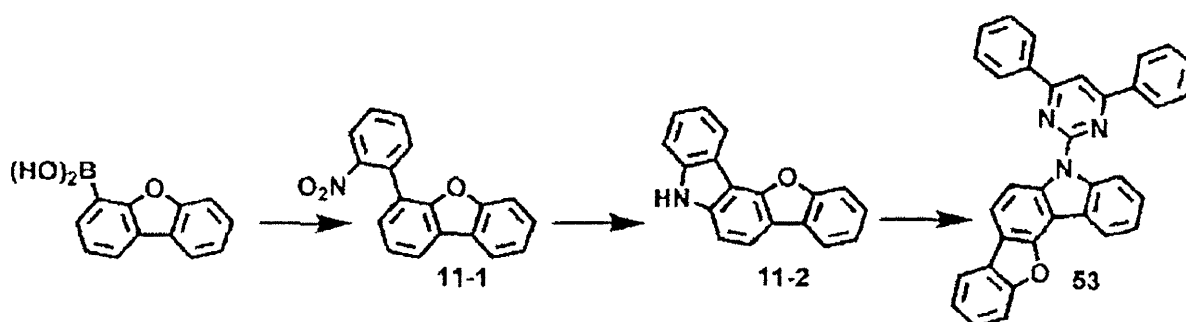
化合物10-2 5.0 g (17.4 mmol)、ジベンゾ[b,d]チオフェン-4-イルボロン酸 5.2 g (20.88 mmol)、Pd(PPh₃)₄ 0.8 g (0.7 mmol)、2MのK₂CO₃水溶液20 mL、トルエン100 mLおよびエタノール50 mLが投入され、次いで還流下で12時間攪拌された。次いで、蒸留水での洗浄、EAでの抽出、MgSO₄での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラム分離が逐次的に行われ、それにより化合物77 4.3 g (10.48 mmol、60%)を得た。

MS/FAB測定値580、計算値579.71。

【0121】

[製造例11]化合物53の製造

【化42】



【0122】

化合物11-1の製造

10

20

30

40

50

ジベンゾ[*b*, *d*]フラン-4-イルボロン酸 10 g (43.84 mmol)、プロモニトロベンゼン 8.85 g (43.84 mmol)、2 MのNa₂CO₃水溶液 70 ml、トルエン 200 ml およびエタノール 70 ml が混合され、次いで還流下で攪拌された。5時間後、得られた物質が室温まで冷却され、次いで、EAで抽出され、次いで、蒸留水での洗浄が行われた。次いで、硫酸マグネシウムでの乾燥、減圧下での蒸留、およびカラム分離が逐次的に行われ、それにより化合物 11-1 10 g (32.74 mmol、74.68%) を得た。

【0123】

化合物 11-2 の製造

化合物 11-1 10 g (32.74 mmol) がトリエチルホスフィット 100 ml と混合され、次いで、この混合物が 150 で7時間攪拌された。得られた物質は室温まで冷却され、減圧下で蒸留され、EAで再結晶化させられて、それにより化合物 11-2 7 g (25.60 mmol、78.19%) を得た。

10

【0124】

化合物 53 の製造

NaH (鉱油中 60%) 3.3 g (83.90 mmol) が DMF 10 mL 中に希釈された。化合物 11-2 18.3 g (67.12 mmol) が DMF 60 mL に溶かされ、そしてこの溶液が上記反応液に添加され、次いで室温で1時間攪拌された。2-クロロ-4,6-ジフェニルピリミジン 10 g (67.12 mmol) が DMF 60 mL に溶かされ、そしてこの溶液が上記反応液に添加された。得られた物質は室温で4時間攪拌され、次いで、これに蒸留水 40 mL が添加された。次いで、MCでの抽出、蒸留水およびNaCl水溶液での洗浄、MgSO₄での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラムクロマトグラフィを用いた精製が逐次的に行われ、それにより化合物 53 5.4 g (14.0 mmol、21%) を得た。

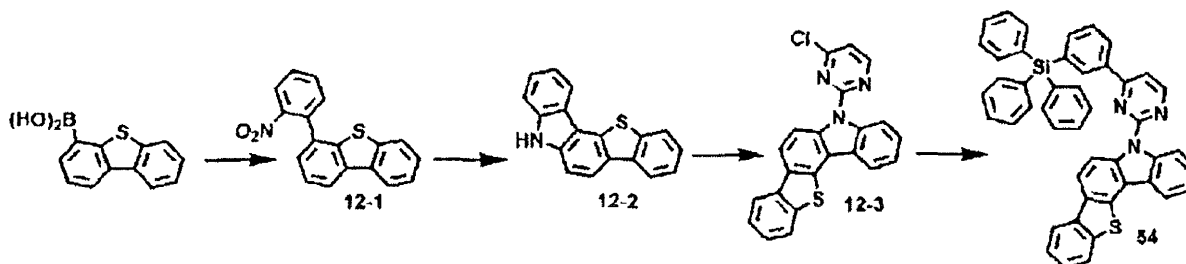
20

MS/FAB測定値 504、計算値 503.62。

【0125】

[製造例 12] 化合物 54 の製造

【化 43】



30

【0126】

化合物 12-1 の製造

ジベンゾ[*b*, *d*]チオフェン-4-イルボロン酸 10 g (43.84 mmol)、プロモニトロベンゼン 8.85 g (43.84 mmol)、2 MのNa₂CO₃水溶液 70 ml、トルエン 200 ml およびエタノール 70 ml が混合され、次いで、還流下で攪拌された。5時間後、得られた物質が室温まで冷却され、次いで、EAで抽出され、次いで、蒸留水での洗浄が行われた。次いで、硫酸マグネシウムでの乾燥、減圧下での蒸留、およびカラム分離が逐次的に行われ、それにより化合物 12-1 10 g (32.74 mmol、74.68%) を得た。

40

【0127】

化合物 12-2 の製造

化合物 12-1 10 g (32.74 mmol) がトリエチルホスフィット 100 ml と混合され、次いで、この混合物が 150 で7時間攪拌された。得られた物質が室温まで冷却され、減圧下で蒸留され、そしてEAを用いて再結晶化させられて、それにより化

50

合物 12 - 2 7 g (25 . 60 mmol、78 . 19%) を得た。

【 0128 】

化合物 12 - 3 の製造

NaH (鈹油中 60%) 3 . 3 g (83 . 90 mmol) が DMF 10 mL 中に希釈された。化合物 12 - 2 18 . 3 g (67 . 12 mmol) が DMF 60 mL に溶かされ、この溶液が上記反応液に添加され、次いで 1 時間攪拌された。2, 4 - ジクロロピリミジン 10 g (67 . 12 mmol) が DMF 60 mL 中に溶かされ、そしてこの溶液は上記反応液に添加された。得られた物質は室温で 4 時間攪拌され、次いでこれに蒸留水 40 mL が添加された。次いで、EA での抽出、蒸留水および NaCl 水溶液での洗浄、MgSO₄ での乾燥、減圧下での蒸留、およびカラムクロマトグラフィを用いた精製が逐次的に行われ、それにより化合物 12 - 3 5 . 4 g (14 . 0 mmol、21%) を得た。

10

【 0129 】

化合物 54 の製造

化合物 12 - 3 5 . 2 g (13 . 58 mmol)、化合物 8 - 2 6 . 2 g (16 . 30 mmol)、Pd (PPh₃)₄ 784 mg (0 . 67 mmol)、2 M の Na₂CO₃ 水溶液 70 mL、エタノール 50 mL およびトルエン 200 mL が投入され、次いで、還流下 120 で、12 時間攪拌された。得られた物質は室温まで冷却され、次いで、EA での抽出、蒸留水および NaCl 水溶液での洗浄、および EA を用いた再結晶化が逐次的に行われ、それにより化合物 54 6 . 4 g (69%) を得た。

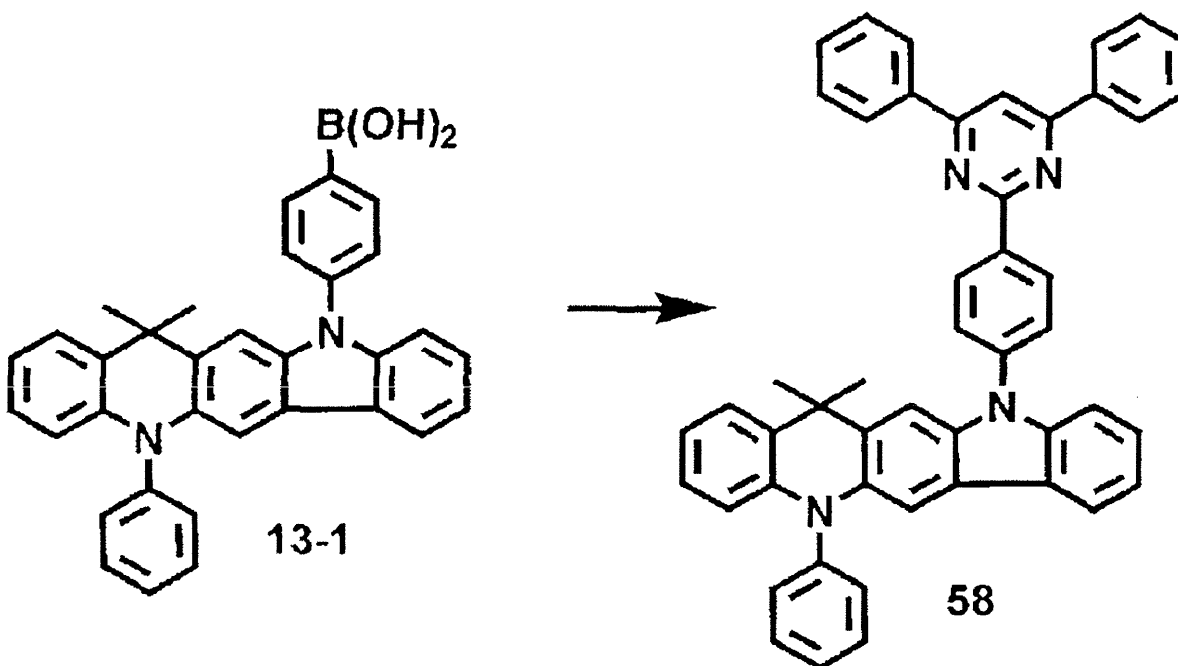
20

MS / FAB 測定値 686、計算値 685 . 91。

【 0130 】

[製造例 13] 化合物 58 の製造

【 化 44 】



30

40

【 0131 】

化合物 58 の製造

2 - クロロ - 4, 6 - ジフェニルピリミジン 2 . 7 g (10 . 11 mmol)、化合物 13 - 1 5 g (10 . 11 mmol)、Pd (PPh₃)₄ 584 mg (0 . 50 mmol)、K₂CO₃ (2 M) 15 mL および EtOH 15 mL がトルエン 30 mL に溶解させられ、次いで 120 に加熱された。得られた物質は 3 時間攪拌され、次いで、反応の完了時に、得られた反応物質は蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。有機層が MgSO₄ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製を行って、それにより化合物 58

50

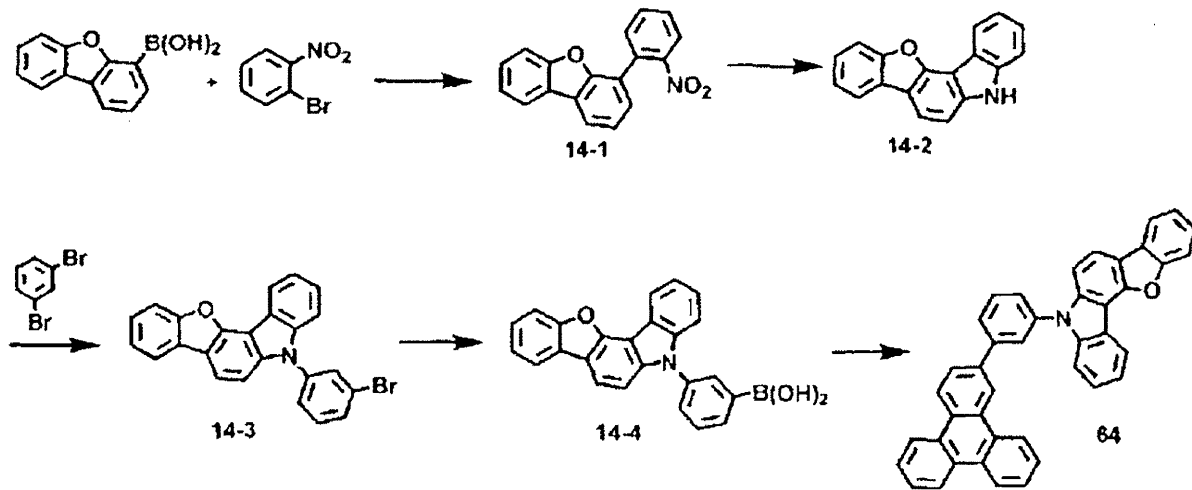
5 g (72%) を得た。

MS / FAB 測定値 681、計算値 680.84。

【0132】

[製造例14] 化合物64の製造

【化45】



10

【0133】

化合物14-1の製造

ジベンゾ[*b, d*]フラン-4-イルボロン酸 45 g (0.21 mol)、1-ブromo-2-ニトロベンゼン 39 g (0.19 mol)、Pd(PPh₃)₄ 11.1 g (0.0096 mol)、K₂CO₃ (2M) 290 mL、およびエタノール 290 mL が 1 L の 2 つ口 R B F に投入され、そしてこれにトルエン 580 mL が添加された。得られた混合物は 120 に加熱され、次いで 4 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質は蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。有機層が MgSO₄ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製を行って、それにより化合物 14-1 47 g (85%) を得た。

20

【0134】

化合物14-2の製造

化合物 14-1 47 g (0.16 mol)、トリエチルホスフィット 600 mL、および 1,2-ジクロロベンゼン 300 mL が 1 L の 2 つ口 R B F に投入された。得られた混合物は 150 に加熱され、次いで 12 時間攪拌された。反応の完了時に、溶媒は蒸留され、次いで蒸留水での洗浄、そして酢酸エチルでの抽出を行った。有機層が MgSO₄ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製を行って、それにより化合物 14-2 39 g (81%) を得た。

30

【0135】

化合物14-3の製造

化合物 14-2 15 g (0.058 mol)、1,3-ジブリンニベンゼン 82 g (0.349 mol)、CuI 5.5 g (2.91 mmol)、K₃PO₄ 25 g (0.11 mol)、エチレンジアミン 4 mL (0.058 mol)、およびトルエン 500 mL が 1 L の 2 つ口 R B F に投入された。得られた混合物が 75 に加熱され、次いで 12 時間攪拌された。反応完了時に、得られた反応物質は濾別されて Cu を除去し、次いで、蒸留水での洗浄、そして酢酸エチルでの抽出を行った。有機層が MgSO₄ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製を行って、それにより化合物 14-3 17.1 g (71%) を得た。

40

【0136】

化合物14-4の製造

50

化合物 14 - 3 17 g (0.041 mol) が 1 L の 2 つ口 R B F に投入され、次いで、真空条件下で乾燥させ、次いで、窒素ガスで満たされた。これに、T H F 300 m l が添加され、次いで、得られた混合物が - 78 °C まで冷却された。これに、n - B u L i (2.5 M) 24.7 m l (0.061 mol) がゆっくりと添加され、次いで低温状態を維持しつつ 1 時間攪拌された。これに、B (i - p r o) 3 14.2 m l (0.061 m m o l) が - 78 °C で添加され、次いで 12 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた反応物質に 1 M の H C l が添加され、次いで 10 分後に、E A での抽出が行われた。有機層が M g S O ₄ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製を行って、それにより化合物 14 - 4 13.8 g (90%) を得た。

10

【0137】

化合物 64 の製造

2 - プロモトリフェニレン 7.2 g (23.44 m m o l)、化合物 14 - 4 13.2 g (35.16 m m o l)、P d (o A c) ₂ 790 m g (3.51 m m o l)、P (t - B u) ₃ 4.7 m l (7.03 m m o l)、および K ₃ P O ₄ (2 M) 46 m l (93.76 m m o l) が 500 m l の 2 つ口 R B F に投入され、そしてこれにエタノール 46 m l およびトルエン 200 m l が添加された。得られた混合物は 120 °C に加熱され、次いで 2 時間攪拌された。反応の完了時に、得られた物質は蒸留水で洗浄され、そして酢酸エチルで抽出された。有機層が M g S O ₄ で乾燥させられ、そして溶媒がロータリーエバポレータによって除去され、次いでカラムクロマトグラフィを用いた精製を行って、それにより化合物 64 5.8 g (44%) を得た。

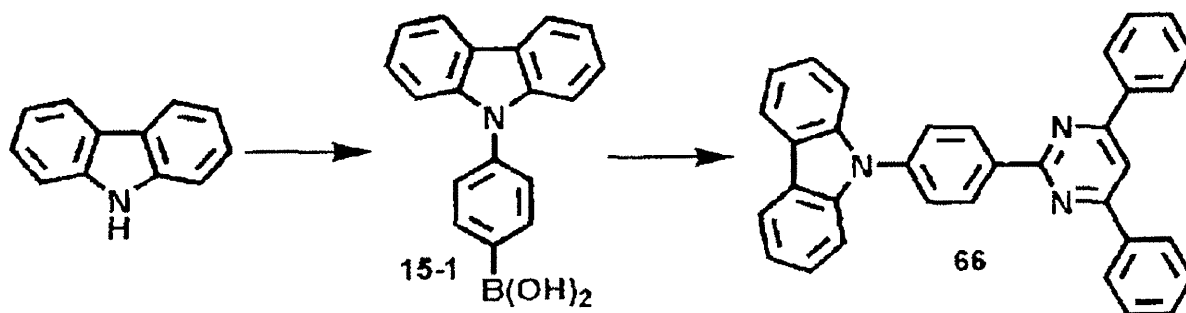
20

M S / F A B 測定値 560、計算値 559.65。

【0138】

[製造例 15] 化合物 66 の製造

【化 46】



30

【0139】

化合物 15 - 1 の製造

カルバゾール (30 g、0.18 mol)、1,4 - ジプロモベンゼン (85 g、0.36 mol)、C u I (34 g、0.18 mol)、K ₃ P O ₄ (114 g、0.54 mol)、およびトルエン (1200 m l) が 500 m l の丸底フラスコに投入され、そして得られた混合物が 120 °C で 10 分間攪拌された。次いで、この中にエチレンジアミン (24 m l、0.36 mol) が添加され、次いで 120 °C で 12 時間攪拌された。反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いでカラムクロマトグラフィが行われ、それにより化合物を得た。この化合物 (13 g、0.04 mol) が、無水条件の 1000 m l の丸底フラスコに投入され、次いで、これに乾燥 T H F (200 m l) の添加が行われ、次いで、窒素下で攪拌しつつ - 78 °C で、これに n - B u L i (20 m l、ヘキサン中 2.25 M の溶液) がゆっくりと添加された。得られた混合物は - 78 °C で 1 時間攪拌され、次いで、- 78 °C でその中への B (O M e) ₃ (6.7 m l、0.06 mol) のゆっくりとした添加を行い、次いでその温度が室温まで上げられ、次いで 12 時間にわたって反応させた。この反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いで有機層が M g S O ₄ で乾燥させられ、次いでろ過が行われた

40

50

。溶媒が減圧下で除去され、次いでカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物 15 - 1 (8 . 5 g、73%) を白色固体として得た。

【0140】

化合物66の製造

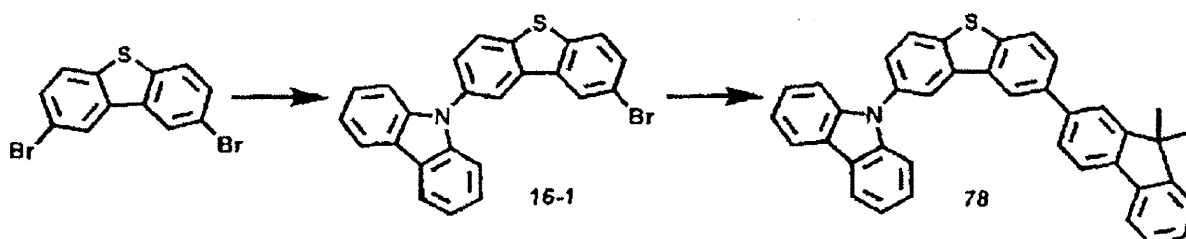
2 - クロロ - 4 , 6 - ジフェニルピリミジン (5 . 0 g、0 . 02 mol)、Pd (P Ph ₃) ₄ (1 . 0 g、0 . 0009 mol)、2 M の Na ₂ CO ₃ (100 ml)、トルエン (200 ml)、および Et OH (70 ml) が化合物 15 - 1 (6 . 4 g、0 . 02 mol) に添加され、得られた混合物が 120 で 12 時間攪拌された。反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いで有機層が Mg SO ₄ で乾燥させられ、次いでろ過が行われた。溶媒が減圧下で除去され、次いで DMF を用いた再結晶化を行って、それにより化合物 66 (3 . 7 g、41%) を得た。

MS / FAB 測定値 474、計算値 473 . 57。

【0141】

[製造例 16] 化合物 78 の製造

【化 47】



【0142】

化合物 16 - 1 の製造

2 , 8 - ジブロモジベンゾ [b , d] チオフェン 20 g (0 . 12 mol)、カルバゾール 82 g (2 eq)、CuI 11 . 4 g (0 . 5 eq) および K ₃ PO ₄ 76 . 1 g (3 eq) が 2 つ フラスコ に入れられ、次いで、これは真空雰囲気下で窒素で満たされた。次いで、トルエン mL (0 . 1 M) がこれに添加され、次いで、還流下 80 で攪拌された。温度が 80 に到達した時に、この中にエチレンジアミン 8 mL (1 eq) が添加され、次いで、還流下 120 で 12 時間攪拌された。反応の完了後、この中に NH ₄ Cl (aq) 100 mL が添加され、Cu が除去された。有機層は EA および H ₂ O で抽出され、次いで、Mg SO ₄ での乾燥を行って、次いで得られた有機層が減圧下で蒸留された。このようにして得られた有機層がカラムクロマトグラフィによって分離され、それにより化合物 16 - 1 36 g (70% 収率) を得た。

【0143】

化合物 78 の製造

化合物 16 - 1 13 . 8 g (0 . 03 mol)、9 , 9 - ジメチル - 9 H - フルオレン - 2 - イルボン酸 11 . 5 g (1 . 5 eq)、PdCl ₂ (P Ph ₃) ₂ 2 . 3 g (1 . 5 eq)、2 . 5 M Na ₂ CO ₃ 15 . 4 g、アリコート (Aliquat) 336 5 mL、トルエン 160 mL、Et OH 80 mL、および H ₂ O 73 mL が一緒にされ、次いで還流下 110 で 3 時間 30 分間攪拌された。反応の完了後、得られた物質に対して EA および蒸留水での抽出が行われ、次いで、Mg SO ₄ での乾燥を行って、CHCl ₃ に溶解させ、そしてシリカろ過を行った。有機層が集められ、次いでロータリーエバポレータを用いることによって固体が生じさせられた。生じた固体は DMF を用いて再結晶化させられて、次いで、その固体のシリカろ過を行った。ロータリーエバポレータによって固体を生じさせるために、有機層が再び使用され、次いで、EA および THF を用いて再結晶化させられ、それにより化合物 78 8 g (49% 収率) を得た。

MS / FAB 測定値 542、計算値 541 . 70。

【0144】

[製造例 17] 化合物 95 の製造

10

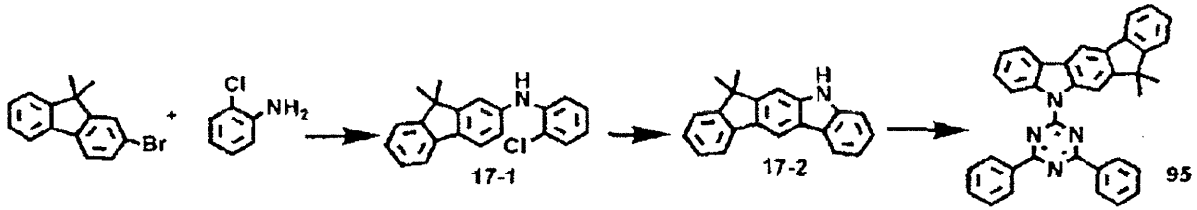
20

30

40

50

【化48】



【0145】

化合物17-1の製造

2-ブロモ-9,9-ジメチル-9H-フルオレン(50g、0.183mol)、2-クロロアニリン(57ml、0.549mol)、Pd(OAc)₂(1.6g、0.007mol)、NaO-t-Bu(44g、0.458mol)、トルエン(500ml)、およびP(t-Bu)₃(7.2ml、0.0146mol)が1000mLの丸底フラスコに入れられ、得られた混合物は120で12時間攪拌された。反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いで、有機層がMgSO₄で乾燥させられ、次いで、ろ過が行われた。溶媒が減圧下で除去され、次いでカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物17-1(32g、55%)を白色固体として得た。

10

【0146】

化合物17-2の製造

化合物17-1(32g、0.1mol)、Pd(OAc)₂(1.1g、0.005mol)、ジ-tert-ブチルメチルホスフィン、HBF₄(2.48g、0.01mol)、K₂CO₃(42g、0.30mol)、およびDMA(550ml)が一緒にされ、次いで200で12時間攪拌された。反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いで、有機層がMgSO₄で乾燥させられ、次いで、ろ過が行われた。溶媒が減圧下で除去され、次いでカラムクロマトグラフィを行って、それにより化合物17-2(14g、47%)を得た。

20

【0147】

化合物95の製造

化合物17-2(5g、17.64mmol)および2-クロロ-4,6-ジフェニルトリアジン(5.6g、21.17mmol)がDMF(100ml)中に溶解させられた。これに、NaH(1.05g、26.46mmol)がゆっくりと添加され、次いで室温で12時間攪拌された。これに蒸留水が添加され、減圧下で固体がろ過されて、次いでカラムクロマトグラフィが行われ、それにより化合物95(3.9g、42.96%)を得た。

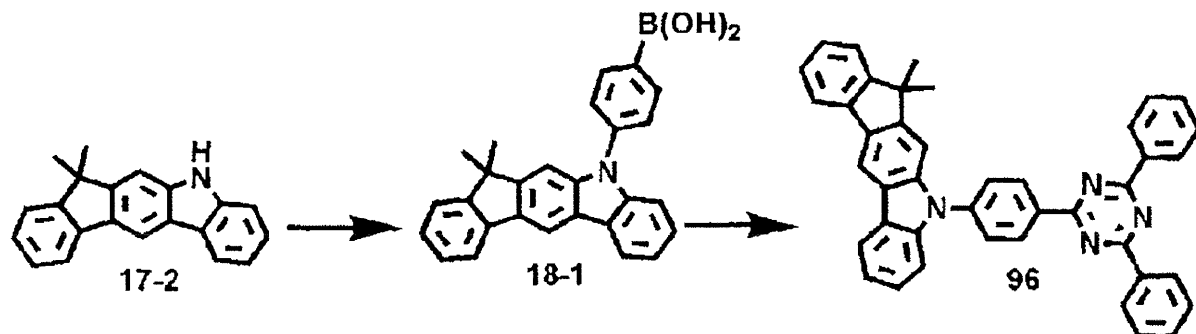
30

MS/FAB測定値514、計算値514.62。

【0148】

[製造例18]化合物96の製造

【化49】



40

【0149】

化合物18-1の製造

50

化合物 17-2 (32 g、0.11 mol)、1-ブロモ-4-ヨードベンゼン (95.8 g、0.339 mol)、CuI (13 g、0.068 mol)、 K_3PO_4 (86.3 g、0.41 mol)、およびトルエン (700 ml) が 500 mL の丸底フラスコに入れられ、そして得られた混合物が 80 で 10 分間攪拌された。次いで、これにエチレンジアミン (18.3 ml、0.27 mol) が添加され、次いで、140 で 12 時間攪拌を行った。反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いでカラムクロマトグラフィが行われ、それにより化合物を得た。この化合物 (46 g、0.10 mol) が、無水条件の 2000 mL の丸底フラスコに入れられ、次いで、この中に乾燥 THF (800 ml) の添加が行われ、次いで、窒素下で攪拌しつつ -78 で、この中に n-BuLi (63 ml、ヘキサン中 2.25 M の溶液) が添加された。得られた混合物は -78 で 1 時間攪拌され、次いで、-78 でその中への B(O-iPr)₃ (48 ml、0.21 mol) のゆっくりとした添加を行い、次いでその温度が室温まで上げられ、次いで 12 時間にわたって反応させた。この反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いで有機層が $MgSO_4$ で乾燥させられ、次いでろ過が行われた。溶媒が減圧下で除去され、次いで再結晶化を行って、それにより化合物 18-1 (32.8 g、78%) を白色固体として得た。

10

【0150】

化合物 96 の製造

化合物 18-1 (32.8 g、0.08 mol)、2-クロロ-4,6-ジフェニル-1,3,5-トリアジン (26.1 g、0.098 mol)、 $Pd(PPh_3)_4$ (4.7 g、0.004 mol)、 K_2CO_3 (33.7 g、0.244 mol)、トルエン (410 ml)、EtOH (100 ml)、および H_2O (120 ml) が一緒にされ、そして得られた混合物が 120 で 12 時間攪拌された。反応の完了後、得られた物質に対して酢酸エチルでの抽出が行われ、次いで有機層が $MgSO_4$ で乾燥させられ、次いで、ろ過が行われた。溶媒が減圧下で除去され、次いで再結晶化を行って、それにより化合物 96 (12 g、30%) を得た。

20

MS/FAB 測定値 591、計算値 590.71。

【0151】

[実施例 1] 本発明の有機電界発光化合物を使用した OLED 素子の製造

本発明の電界発光材料を使用することにより OLED 素子が製造された。まず、OLED 用ガラス (サムスンコーニングにより製造) から得られた透明電極 ITO 薄膜 (15 /) がトリクロロエチレン、アセトン、エタノールおよび蒸留水を順に使用した超音波洗浄にかけられ、使用までイソプロパノール中に貯蔵された。次に、真空蒸着装置の基体ホルダに ITO 基体を取り付け、この真空蒸着装置のセル内に N1, N1' - (ビフェニル-4, 4' -ジイル)ピス (N1 - (ナフタレン-2-イル) - N4, N4 -ジフェニルベンゼン-1, 4 -ジアミン) を入れ、次いで、この装置はこのチャンパー内の真空度が 10^{-6} torr に到達するまで脱気された。次いで、このセルに電流を適用して気化を行い、それにより、ITO 基体上に 120 nm の厚みを有する正孔注入層を形成させた。次いで、真空蒸着装置の他のセルに N4, N4, N4', N4' -テトラ (ビフェニル-4-イル) ビフェニル-4, 4' -ジアミンを入れ、このセルに電流を適用して気化を行い、それにより正孔注入層上に 20 nm の厚みを有する正孔輸送層を形成させた。正孔注入層および正孔輸送層を形成した後で、形成された層上に電界発光層が以下のように形成された。ホストとしての化合物 53 が真空蒸着装置内の一方のセルに入れられそしてドーパントとしての化合物 1 がもう一方のセルに入れられた。次いで、20 重量%未満のドーピングを行うように、これら 2 種類の材料は異なる速度で蒸発させられ、それにより、正孔輸送層上に 40 nm の厚さを有する電界発光層を形成させた。その後、2 - (4 - (9, 10 -ジ (ナフタレン-2-イル) アントラセン-2-イル) フェニル) - 1 - フェニル-1H-ベンゾ [d] イミダゾール) が真空蒸着装置の一方のセルに入れられ、そしてリチウムキノラートが真空蒸着装置の別のセルに入れられた。次いで、これら 2 つの材料は 30 重量% ~ 70 重量% のドーピングを行うような異なる速度で蒸発させられて、そ

30

40

50

れにより電界発光層上に30nmの厚さを有する電子輸送層を形成させた。次いで、電子注入層として、リチウムキノレートが1~2nmの厚みで堆積させられ、次いで、そして別の真空蒸着装置を使用して、150nmの厚みを有するようにAlカソードが堆積させられ、これによりOLED素子を製造した。これら材料のそれぞれの化合物は 10^{-6} torrでの真空昇華によって精製されていた。

【0152】

結果として、 3.0 mA/cm^2 の電流が4.0Vの電圧で流れ、そして 2038 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【0153】

[実施例2]

本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光材料として化合物54がホストとして使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

結果的に、 2.0 mA/cm^2 の電流が3.6Vの電圧で流れ、そして 1035 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【0154】

[実施例3] 本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光材料として化合物59がホストとして使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

結果的に、 1.56 mA/cm^2 の電流が3.7Vの電圧で流れ、そして 1020 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。15000nitの輝度でルミネセンスを90%低下させるのに40時間かかった。

【0155】

[実施例4] 本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光材料として化合物62がホストとして使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

結果的に、 1.91 mA/cm^2 の電流が3.7Vの電圧で流れ、そして 1105 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【0156】

[実施例5] 本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光材料として化合物63がホストとして使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

結果的に、 1.9 mA/cm^2 の電流が3.0Vの電圧で流れ、そして 1070 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【0157】

[実施例6] 本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光材料として化合物63および48が同じ速度で蒸発させられ、そしてホストとして使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

結果的に、 1.73 mA/cm^2 の電流が3.0Vの電圧で流れ、そして 760 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。15000nitの輝度でルミネセンスを90%低下させるのに35時間かかった。

【0158】

[実施例7] 本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光材料として化合物65がホストとして使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

結果的に、 2.3 mA/cm^2 の電流が3.4Vの電圧で流れ、そして 1220 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【0159】

[実施例8] 本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

10

20

30

40

50

電界発光材料として化合物 66 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 3.2 mA/cm^2 の電流が 4.0 V の電圧で流れ、そして 1760 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。 15000 nit の輝度でルミネセンスを 90% 低下させるのに 32 時間かかった。

【0160】

[実施例 9] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 71 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 2.2 mA/cm^2 の電流が 4.1 V の電圧で流れ、そして 1030 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

10

【0161】

[実施例 10] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 77 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 2.08 mA/cm^2 の電流が 3.7 V の電圧で流れ、そして 1020 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【0162】

[実施例 11] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 78 および 48 が同じ速度で蒸発させられ、そしてホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

20

結果的に、 1.6 mA/cm^2 の電流が 4.3 V の電圧で流れ、そして 820 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。 15000 nit の輝度でルミネセンスを 90% 低下させるのに 33 時間かかった。

【0163】

[実施例 12] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 94 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 1.92 mA/cm^2 の電流が 3.8 V の電圧で流れ、そして 1060 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

30

【0164】

[実施例 13] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 95 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 2.81 mA/cm^2 の電流が 3.3 V の電圧で流れ、そして 1315 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【0165】

[実施例 14] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 96 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

40

結果的に、 2.49 mA/cm^2 の電流が 2.8 V の電圧で流れ、そして 860 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【0166】

[実施例 15] 本発明の有機電界発光化合物を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として化合物 97 がホストとして使用されたこと以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 2.1 mA/cm^2 の電流が 3.5 V の電圧で流れ、そして 1018 cd/m^2 の緑色光が放射されたことが確認された。

【0167】

50

[比較例 1] 先行技術の電界発光材料を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として、ホストとして C B P [4 , 4 ' - N , N ' - ジカルバゾール - ビフェニル] およびドーパントとして I r (p p y) 3 [トリス (2 - フェニルピリジン) イリジウム] を使用することにより、正孔輸送層上に 3 0 n m の厚さを有する電界発光層が堆積され、並びに B A l q [ビス (2 - メチル - 8 - キノリナート) (p - フェニルフェノラト) アルミニウム (I I I)] を使用することにより 1 0 n m の厚さを有する正孔ブロッキング層が堆積されること以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 $5.0 \text{ mA} / \text{cm}^2$ の電流が 6.0 V の電圧で流れ、そして $1183 \text{ cd} / \text{m}^2$ の緑色光が放射されたことが確認された。15000 n i t の輝度でルミネセンスを 90% 低下させるのに 0.5 時間かかった。

10

【 0 1 6 8 】

[比較例 2] 先行技術の電界発光材料を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として、ホストとして化合物 6 6 およびドーパントとして I r (p p y) 3 [トリス (2 - フェニルピリジン) イリジウム] を使用することにより正孔輸送層上に 3 0 n m の厚さを有する電界発光層が堆積されること以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 $1.89 \text{ mA} / \text{cm}^2$ の電流が 4.6 V の電圧で流れ、そして $920 \text{ cd} / \text{m}^2$ の緑色光が放射されたことが確認された。15000 n i t の輝度でルミネセンスを 90% 低下させるのに 11 時間かかった。

20

【 0 1 6 9 】

[比較例 3] 先行技術の電界発光材料を使用した O L E D 素子の製造

電界発光材料として、ホストとして化合物 6 6 およびドーパントとして化合物 3 0 を使用することにより正孔輸送層上に 3 0 n m の厚さを有する電界発光層が堆積されること以外は、実施例 1 におけるのと同じ方法によって O L E D 素子が製造された。

結果的に、 $2.0 \text{ mA} / \text{cm}^2$ の電流が 4.4 V の電圧で流れ、そして $1120 \text{ cd} / \text{m}^2$ の緑色光が放射されたことが確認された。15000 n i t の輝度でルミネセンスを 90% 低下させるのに 28 時間かかった。

【 0 1 7 0 】

この試験データは、典型的な実施形態に従う特定のホストおよびトリス (4 - メチル - 2 , 5 - ジフェニルピリジン) イリジウムが電界発光層において一緒に使用された場合には、優れた発光効率および長い駆動寿命が示されたことを確認した。さらに、典型的な実施形態のドーパントは、2 種類のホストと共に使用された場合に、優れた特性を示した。

30

フロントページの続き

- (72)発明者 イ, ス・ヨン
大韓民国, チュンチョンナム - ド・331 - 818, チョナン - シ, ソブク - ク, ペクソク - ドン
, ブラウン・ストーン・アパートメント, 102 - 1404
- (72)発明者 キム, ヨン・ジル
大韓民国, キョンギ - ド・440 - 320, スウォン - シ, チャンアン - ク, ユルチョン - ドン,
ジェイル・オフィステル, 304
- (72)発明者 イ, ヒョ・ジュン
大韓民国, キョンギ - ド・445 - 853, ファソン - シ, ソク - ドン, ウミリン・ジェイル・ブ
ンギョンチャ・アパートメント, イェタン・マウル, 117 - 1301
- (72)発明者 イ, ス・ヒョン
大韓民国, キョンギ - ド・440 - 709, スウォン - シ, チャンアン - ク, チョウォン・2 - ド
ン, ハニル・タウン・アパートメント, 141 - 501
- (72)発明者 キム, ヒョン
大韓民国, キョンギ - ド・443 - 470, スウォン - シ, ヨントン - ク, ヨントン - ドン, 96
3 - 2, シンナムジル・サンヨン・アパートメント, 542 - 1504
- (72)発明者 チョ, ヨン・ジュン
大韓民国, キョンギ - ド・463 - 892, ソンナム - シ, プンダン - ク, サムピョン - ドン, ポ
ットドゥルマウル・2 - タンジ, イージー・ジ・ワン・アパートメント, 204 - 701
- (72)発明者 クォン, ヒョク・ジュ
大韓民国, ソウル・135 - 877, カンナム - ク, サムソン - ドン, ヒルステイト, 105 - 2
003
- (72)発明者 イ, キョン・ジュ
大韓民国, ソウル・121 - 773, マポ - ク, ドファ - ドン, ヒュンダイ・ホームタウン, 21
0 - 1001
- (72)発明者 キム, ポン・オク
大韓民国, ソウル・135 - 877, カンナム - ク, サムソン - ドン, 50, ヒルステイト, 20
8 - 401
- (72)発明者 キム, ソン・ミン
大韓民国, ソウル・158 - 766, ヤンチョン - ク, モク・1 - ドン, トラパレイス・ウエスタ
ン, ビー・1801

Fターム(参考) 3K107 AA01 BB01 CC04 CC07 CC12 CC21 DD51 DD52 DD53 DD59
DD68 DD69 FF13 FF14

专利名称(译)	使用电致发光化合物作为发光材料的电致发光器件		
公开(公告)号	JP2019195074A	公开(公告)日	2019-11-07
申请号	JP2019111010	申请日	2019-06-14
[标]申请(专利权)人(译)	罗门哈斯电子材料有限公司		
申请(专利权)人(译)	罗门哈斯电子材料有限公司韩国		
[标]发明人	キムチシク イスヨン キムヨンジル イヒヨジュン イスヒヨン キムヒヨン チョヨンジュン クオンヒョクジュ イキヨンジュ キムボンオク キムソンミン		
发明人	キム,チ・シク イ,ス・ヨン キム,ヨン・ジル イ,ヒョ・ジュン イ,ス・ヒヨン キム,ヒヨン チョ,ヨン・ジュン クオン,ヒョク・ジュ イ,キヨン・ジュ キム,ボン・オク キム,ソン・ミン		
IPC分类号	H01L51/50 H05B33/12 C09K11/06		
CPC分类号	C07B59/00 C07D209/82 C07D403/04 C07D403/10 C07D403/14 C07D405/14 C07D409/04 C07D471/04 C07D487/04 C07D491/04 C07D495/04 C07F15/0033 C09B17/00 C09B21/00 C09B57/00 C09B57/10 C09B69/008 C09K11/06 C09K2211/1007 C09K2211/1029 C09K2211/1033 C09K2211/1037 C09K2211/1044 C09K2211/1059 C09K2211/1088 C09K2211/1092 C09K2211/185 H01L51/0054 H01L51/0067 H01L51/0071 H01L51/0072 H01L51/0074 H01L51/0077 H01L51/0085 H01L51/0094 H01L51/5016 H01L2251/308 H05B33/14 Y02B20/181 H01L2251/30		
FI分类号	H05B33/14.B H05B33/12.C C09K11/06.690 C09K11/06.660		
F-TERM分类号	3K107/AA01 3K107/BB01 3K107/CC04 3K107/CC07 3K107/CC12 3K107/CC21 3K107/DD51 3K107/DD52 3K107/DD53 3K107/DD59 3K107/DD68 3K107/DD69 3K107/FF13 3K107/FF14		
优先权	1020110075593 2011-07-29 KR 1020100074290 2010-07-30 KR		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

提供一种具有优异的发光效率，高色纯度，低驱动电压和长寿命的有机电致发光器件。性能的基础上，改善了电子密度分布。有机电致发光器件还提高了低初始效率和较短的使用寿命，并确保每种颜色的高性能，高效率 and 长寿命的高性能电致发光。

(5) Int. Cl.	F I	テーマコード(参考)
H01L 51/50 (2006.01)	H05B 33/14	B 3K107
H05B 33/12 (2006.01)	H05B 33/12	C
C09K 11/06 (2006.01)	C09K 11/06	690
	C09K 11/06	660

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 54 頁)

(21) 出願番号	特願2019-111010 (P2019-111010)	(71) 出願人	509266480
(22) 出願日	令和1年6月14日 (2019.6.14)		
(62) 分割の表示	特願2016-87969 (P2016-87969) の分割		
原出願日	平成23年7月29日 (2011.7.29)		
(31) 優先権主張番号	10-2011-0075593	(74) 代理人	110000589
(32) 優先日	平成23年7月29日 (2011.7.29)		
(33) 優先権主張国・地域又は機関	韓国 (KR)		
(31) 優先権主張番号	10-2010-0074290	(72) 発明者	キム、チ・シク
(32) 優先日	平成22年7月30日 (2010.7.30)		
(33) 優先権主張国・地域又は機関	韓国 (KR)		

ローム・アンド・ハース・エレクトロニクス・マテリアルズ・コリア・リミテッド
大韓民国 331-980 チュンチョンナムード チョナンシ ソブクク 3コンダン 1-ロ 56

特許業務法人センタ国際特許事務所
キム、チ・シク
大韓民国、キョンギド・445-752, ファソンシ、ハンソンドン、ソルビット・マウル・サンヨン・イエガー・アパートメント, 441-1201

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 発光材料として電界発光化合物を使用する電界発光素子